京城日報
本紙定價 廣告料金
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
振替京城三〇〇番

七月十四日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇重大方針決定 臨時閣議に於て

(十二日午後三時東京支局發至急電報大延着)

十二日臨時閣議に於て時局に對する重大方針決定し其結果として十三日午後外交調査會を開き該案件協議せらる可し

◇新政府顔觸

極東政府は十一日左記の如く閣員の發表を爲したり(長春特電)

商工オストローチン、交通兼臨時郵便電信ウストローゴフ、食糧オコローコフ、農務タスキン、陸軍兼臨時内大臣フルーブ大藏ウチエロフ、内閣書記官長グルハーベツ

因に内閣議長は閣員選擧の結果オストローチンに決定、ホルワット將軍臨時執政官として之を統轄す尚セミヨノフ隊長に對し陸軍大臣就任方目下交渉中との説あり

◇政界俄に色めく 總統選擧迫る＝徐樹錚來奉

北方派の南方討伐は着々として其歩を進め居れるが又大總統選擧期も目睫の間に迫り安福倶樂部は表面徐世昌氏を推して大總統と爲さん事を主張し居れるが其實段祺瑞氏を擧げんとするもの、如く徐樹錚、唐氏等の活躍近日目覺しく中央政界頓に色めき渡りたる際徐樹錚氏は特に張作霖督軍と打合せの必要あり軍事問題大總統問題を兼て天津より十一日夜來奉直ちに督軍公署に入りて張督軍と會同協議せり(奉天電報)

◇出兵論意見區々

此の程開會されし閣議にて協同出兵問題を協議せるが意見區々にて結果なかりき(北京電報)

◇出兵と米人理解

西伯利亞出兵問題に就き當地米國人間に漸次理解するもの多く本國政府と日本當局者間の協定附かば決して反對せざるべしと聲言し居れり(北京電報)

◇段閣の將來を憂ふ

湖南に於る馮玉祥氏の獨立及び鄖延省内土匪猖獗との報は當地にて多大の注意を拂はれつつあり一方曹錕張懷芝吳佩孚陳光遠氏等の討伐に冷淡なる態度より廣東討伐の進行如何と共に段内閣の將來を憂ふる者漸く多し(上海電報)

◇新國會開會期

新國會は八月一日召集十日成立開會の事に決せり(北京電報)

◇馮玉祥獨立確實

常德來電によれば馮玉祥氏の獨立愈々明確となれりと(天津電報)

◇張懷芝軍費受領

今回の援粵軍事費は五百萬元にして張懷芝氏は内五十萬元を受領したりと(漢口電報)

◇北軍來襲に備ふ

廣東來電陸榮廷氏は湖南北軍の來襲に備へん爲十五營を增派し陳炳根氏に大兵を率ゐしめて桂林に駐屯せしむるに決したりと(上海電報)

◇張勳復位運動

張勳氏の特使として十日來長せる雷震春氏は十二日吉林に赴けるが要件は奉天、吉林、黑龍の三將軍に對し張勳氏復位助力運動の爲めなりと(長春特電)

◇岑春煊南下決意

岑春煊氏の廣東行に關し段派の觀測する所に據れば氏は素南下の意なかりしも陸榮廷氏より西南時局處理上の全權を委託すべき旨の聲明を受けたる上時局に關する重大問題に就ては在京某氏及馮國璋との間に豫め打合を了し終に南下の事を決するに至れるなりと(北京電報)

◇曹錕南下用向

張懷芝氏は吳佩孚氏其他直隸軍の援粵參加問題に就き曹錕氏に至急南下を屯促したるに對し曹氏は八日天津發九日赴漢する旨返電せりと(漢口電報)

◇吳佩孚態度不明

討南副司令吳佩孚氏の態度頗る不明なるものあり張懷芝も之に就き何等討南計畫立たざる爲至急曹錕氏の南下を要求し來れり有識者中湖南の形勢を氣遣ふもの多し(北京電報)

◇高等教育家留學

教育部は今後各大學校專門學校教授中より各國に留學せしむべき計畫を立て此程北京大學教授劉復等五名女子高等師範教授楊陳二女史を米國瑞西に派遣すべく決定せり之れ支那に於て高等教育家留學の嚆矢とす(北京電報)

◇牧山代議士來長

牧山代議士は十三日午後五時奉天より來長せり(長春特電)

◎南北軍比較

目下南北の軍勢は悉く攻守接壤の一方面にのみ集中せられ後方の戰は等閑に附せられある狀態に有りと雖而かも南北軍隊の相對峙する者甚だ多く其の潛勢力に於て兵數に於て兩々伯仲の間に在り南北兩軍の在湘を比較せんに

▲北軍 直隸軍第三師全部第一混成旅及び第一、二、三、四、五、六、混成旅此中死傷退休北還する者其の十分の四を下らざるを以て現存計二萬五六千奉天軍第二、六兩混成旅一部第三、五兩混成旅全部此中死傷俘虜其の十分の三を占め現存一萬三千安徽軍李傑業の五營安化に駐す馬聯甲五營計六千江蘇軍第六混成旅一團江蘇軍は張宗昌之れが總指揮たり近く死傷退休十分の二を下らざるを以て計八千餘張軍湖南督軍張敬堯總指揮十三、十四混成旅護衛隊新混成一旅計約三萬十三、十四兩旅は前錄哲々折傷現存計一萬餘に過ぎず鄂軍湘東敗退より各處に散退し在湘する者四千に不過朱澤黃一營、王正雅面馮旅及び朱澤黃一營、王正雅二團計二萬但し連日激戰の結果已に損傷する者其十分の一現存一萬四五千に過ず又新に降伏せし者十餘營及び臨居に駐防の十八師の一旅を合し北軍總數約十三萬を算す

▲南軍 陝西軍陸裕光一師折傷二分の一桑榮昌一師折傷十分の三馬濟十八營但巡防游擊林俊廷十二營折傷十分の一其重昭十營折傷十分の一其他張其他に部屬する所の林軍約一師以上計五萬五六千

▲湖南軍 趙恒惕一師折傷十分の三劉建藩約二師但し劉死後降伏する者大半其他は程潛の統率に歸す程潛一師及び混成一旅折傷十分の四周則范、田應詔は一師の兵數に達せず而かも張學濟林德軒の殘卒極めて僅少且つ軍器彈藥も悉く達せざるの有樣に在りと雖も尙其湘軍總數は六萬以上を算す加ふるに雲貴軍一旅及び鄂軍李書城一營援南接近の報あり即ち今や南軍の湘中に在りて退かざる者十二萬餘に達する有樣なり

◈外蒙古獨墺勢力侵入 喇嘛僧渡日効果

最近蒙古地方の視察を終り東上の途十日朝下關に著したる日蒙佛教聯合協會理事釋默笑師は語つて曰く獨墺俘虜及び過激派の最近露支國境新疆及び伊犂地方から襲ひ居れるは爭はれざる事實で外蒙古一帶の如き久しきに亘りて支那の壓制に苦しみ居れる一般蒙古人の疲弊し居れるに乘じ兵力を以て之に臨み時々逆襲を試むると同時に

△人心收攬策 より出でたる彼等獨特の所謂宗教の力に依つても時々刻々深く喰込んで居るやうである、其本部の所在地と稱せらる、外蒙古邊境ターチマンブには獨墺俘虜の士官及び露兵にして嘗て獨逸の俘虜となり今は解放されて歸來し居れる過激派系統の者など約四五千人の大勢が根據を固め時に過激派の旗を揭げ或は獨逸の國旗を飜して所謂和戰兩樣の蒙古侵入策を講じて居るとの事である、領土的の野心を藏せる兵力の侵略は別に恐るゝに足らないけれ共宗教力を以て人心を納め一般蒙古人の胸底深く喰入るに至つては由々敷大事で

△輕々に看過 する事は出來ない、然も手段たるや極めて巧妙なる策を弄し、時々西藏語、蒙古語、漢語、露語等より成る檄文を飛ばして人心の動搖を惹起せしめ居るのみならず時には一般上流階級を招待し利を以て愚昧なる蒙古人を捉へむとし絕へず日本の爲めに不利益なる事を說きて彼等の對日感情を惡化せしめむ事に深甚の注意を拂ひ日本の蒙古統一は年々歲々激增せる人口の所置より出づる當然の歸結であると吹聽し巧に活動を續け居れる樣は實に凄じいものである、之に對する外蒙古人一般の態度としては或る極めて少數なる識者を除くの外は悉く現實の利に走り今や將に

△過激派を背景 とする獨逸の喰物と成らむとする趨勢にあるやうであるのは最も警戒を要すべき點であると思ふ、極東の時局は單に一般軍人や外交官流にのみ委せ置く秋ではない、將に我宗教家の獻身的努力を要すべく迫つて居ると思ふ、過激派の主張は恰も猫眼の如く時々刻々變化するので之と對戰を續け居れるセミヨノフ軍中には時々滑稽が演ぜられる事である、ツイ半月許り前の事であるが過激派の使節と稱する妙齡の女性が盛裝して飛行機を飛ばし若い旗を振りつ、滿洲里に來り同地の日本人會本部を訪ひ過激派は決して日本を惡むものではない、吾等の

△主義宣傳の 故障たるセミヨノフ軍を敵とするのであるとか稱して過激派の意志を傳へに來たとの事も傳へられて居るが日本としても今日の狀態にありては過激派と稱するよりも寧ろ過激派の獨逸化及同派を利用する獨逸を惡むもので有つて對時局の我國の大方針でも亦其處に有るのだからアンな眞似は遣らずもがなと云つて同地の同胞は笑つて居つたとの事である、喇嘛僧渡日の結果は非常に有効で渡日した喇嘛僧の一行は今猶は渡日當時の話で持切つて居るのみならず到る所に於て蒙古の所謂洋行歸りは盛に親日の必要を傳へ居れるのは意を强うするに足ると思ふ(門司)

◎琿春紅松移出

本月一日清津經由敦賀航日本海橫斷航路の第一船にて清津伊東商會より內地敦賀へ琿春紅松角材二十本十四噸の輸出ありたるが橫斷航路に依る木材の搬出は之れを以て嚆矢とする、琿春地方產木材の需要は逐次增加し近時內地建築界に於ける聲價は益々本品の移出を喚起しつゝある趨勢にあるも船舶不足の爲め所要は各船共小型船を使用し常に所定數量を積載する能はず當業者は痛切に不便を感じつゝ經過せるに日本海橫斷航路開始と共に販路は北陸地方に開拓せらるゝに至りたるも現下使用船は小型にして船腹の餘積僅なるを以て琿春材の特長たる長尺材を空しく切斷して積載せざるべからず爲に本品の價値を沒却するものとして當業者は甚だ遺憾に感じつゝあり(清津)

◎北海道と朝鮮

開拓の餘地多き北海道

和田土地調査局總務課長談

過般、北海道に出張數日前歸京せし土地調査局總務課長和田一郎氏の談に曰く

予の北海道出張用向きは本年度から向ふ十箇年計畫で同道に實施する土地連絡調査計畫の確立に對し卑見を述べ材料を提供し同道廳の參考に供するのであつた

▲土地連絡調査 とは主として官有民有地の境界區分を明かにするものだが山林や調査のすんだ所は既にやらぬのであるし面積も大して廣くはない、又經費も百三十萬圓内外の豫算だから、朝鮮の土地調査などは規模の大少事業の廣狹到底同日に語れるものではない、予は此の計畫立案の參與は三四日で終り北海道内の旅行を試むる心算だつた所、俵長官は目前朝鮮の土地調査局副總裁たりし時予等の上司であつた關係もあり盛んに色々の用を仰せつかり札幌滯留

▲前後二週間 の永きに亘り地方には釧路その他の方面に僅々二三日の旅行を試みしに過ぎない、從つて北海道に旅行し北海道の概念も得ずに歸鮮した次第であるが、感想の一端を述べると、北海道と朝鮮とは同じく植民地的の土地だがその間に非常の差を發見する、乃ち北海道は札幌にしても平野に建設した市街と云ふがドコの都市も新興と云ふ氣分横溢し一歩その都市を出づると、そこには原始的の野と斧鉞の入らぬ山林が續くと形容しても差支ない位要するに未開の土地であつて、朝鮮の既に開き盡された實情とは比較にならないやうである、面積は北海道が七千方里と云ふから朝鮮の一萬四千方里に比し約半分であるが人口は北海道を乘つて僅々二百萬人內地の

▲愛知新潟縣 の開位に過ぎず朝鮮の稍精確は缺くが一千三百萬乃至一千五百萬に比すると其の一割五分內外に留まつてゐる乃ち一平方里三百九十一人となるからそれだけ人煙稀薄であつて開拓の餘地がある譯である、然し朝鮮も人口稠密の方ではない、朝鮮の其の割合に北海道の人口を容れ得るとするには尙ほ五百萬人を容れ得る勘定であるが、事實氣候風土共に北海道は朝鮮より劣つてゐるから先づ今後二三百萬人も殖やしたら頂上であらう、道の當局は今後十年內に三百萬人乃ち現在の五割增しにすると話してゐたが、それは容易ではあるまいと思はる、何でも官有地であつて民間に貸附け得る面積が尙は四五十萬町步もあると云ふから農民を容れ得る餘地は少なくないやうである、それに予の豫見した北海道は

▲地味風土 等の點に於て東北の宮城や青森などより遙に優つてゐるやうに思はれた、同じく農民にしても狹い宮城縣や青森などにゐるより北海道に出かけた方が有利であらうと觀取せらるゝのであるけれど、どう云ふものか北海道移住と云ふ事は經濟上若くは道德上餘程躊躇でもしない限り各地共之れを厭ふ風習のあるのは東北各縣に於ける貧民のためにも北海道開拓のためにも遺憾とせざるを得ない、北海道の米に就ては深く知らぬが目下の產額は七十萬石内外らしく將來尙ほ增收を期し得るとしても到底人口の增加もあるため北海道以外の需要を自給する事は先づ絕望と稱してよからう、要するに北海道では米を作るより外の作物を栽培した方が有利な點もあるらしく無闇に

▲米作を奬勵 する必要はないやうだ、札幌で八月一日から開く開道五十年記念の博覽會は予の滯在中も略出來上がつてゐたから昨今は內部の整理に忙しい事と思ふ、經費は四十何萬圓かと云ふから朝鮮で大正四年にやつた施政五年記念の共進會と規模は略似たものらしい、コレがために札幌の景氣は隨分昇つてゐる、札幌と云へば先づ朝鮮の京城であるが、道路は前にも云つたやうに平野に建設した都會だから京都式に極めて整然としてゐる然し餘りに道路の幅が廣く假へば大通りは南大門通りの三倍もあつて中央に植込みをなし公園式に作つてゐるだけ、兩側の家が極めて小さく低く見え、いくらか空疎な感がせぬでもないやうであつた、尙は總じて

▲北海道 は朝鮮より劣つてゐる、唯一つ優つてゐるのは北海道に資產家の多い事だらうとは前鮮銀理事たりし水越拓銀頭取の話しであつた千萬圓以上が二人か三人、朝鮮で大金持ちと云ふ五十萬圓級はザラにあるらしい

◎吉會比較線

南部線は否決

吉會線鐵道豫定線路に就いて近來敦賀方面を朝鮮茂山に出で清會線茂山より松花江を遡り夾皮溝二道溝を經、朝鮮に聯絡する南部線を採用せんとするの說あれども該豫定線は四十二年締約上の豫定線路たる吉林より額穆(或は五林屯)敦化、延吉を經て會寧に聯絡する北部線豫定線と共に既に調査されたる處にして線は北部線に比し延長哩數に於て約二十哩を短縮し得べしと雖も吉林を出で松花江上流を遡りて夾皮溝に至る間は全くの難工事にして殆んど不可能事に屬すとも言ひ得る如し故に是非共南部線を採らんとせば此間は西に偏りて吉林より樺甸に南下し直角に東夾皮溝に至る線路を選ばざるべからず然すれば全體に於て其延長哩數は北部線と異らざるに至る加之二道溝茂山附近は隧道工事の最も困難なる工事を有しても尙茂山會寧間に聯絡することせば清會線中會寧茂山間は何等の意味を爲さゞるべし北部線のことより工事易く條約線に則り且我邦人の經濟的發展を遂げつゝ、ある間島を通ずる點に於て利益なる特に吉林、樺甸間は滿鐵の一たる[illegible]吉林豫定線路の選び方如何によりては自ら競爭線となり然らざれば線路の摘要を來すことゝなる即ち吉會鐵道延長の目的たる吉會線と吉林線とは吉林を發し暫く同線上を走る矛盾を來すに至るべし(吉林)

殖銀設立彙報

▼殖銀の實質

野坂幹事談

殖産銀行の前途が甚だ有利だと云ふ事を幹事の口から申すのは聊か變であるが元來此の銀行は在來の六銀行の合併であつて新銀行でない在來の

▲農銀を統一 しそれに政府が厚い保護を加へようと云ふのであるから有利ならざらんとするも得ざる譯である、乃ち(一)六農工銀行現在の預金一千萬圓と貸出一千七百萬圓は直ちに殖産銀行に引繼がれる事となつてゐる、これで相當の基礎は既にある譯だ、(二)拂込資本金の十倍乃ち成立すればすぐ四千萬圓の債券發行能力を生ずる、而して殖銀は債券發行によることよらざるとを問はず資金の調達には殆と理想的の途がついてゐる、乃ち朝鮮銀行との密接な關係、日本勸業銀行との密接な關係、更に東拓會社との密接な資金

▲需給關係 はソレである實際殖銀は資金を得る上に於て大なる便宜を有してゐるのである、(三)新銀行の一[illegible]は起業物等であるが既に各殖銀の支店出張所はドコにも起業物を有してゐるから其の儘に使ひ何等失費を要しないのである(四)放資口として本支店出張所以外全道三百餘の金融組合をその系統に置き手足として働かしむるのは營業上に少からざる便宜を有せる譯である(五)曩に詳報された如く農銀の滯貸も鮮銀の低資二百二十萬圓の融通により向後十年間に整理はつく事となつてゐるし、

▲政府持株 十五箇年間の政府貸下金の運用配當免除並に五箇年間の七分配當保證の如き政府の保護は甚だ厚い之等の實情が知れ渡り茲五年も經過すれば殖産銀行は八分若くはそれ以上の配當をなし得らる、だらうと云ふ豫想を生んで殖銀株の利廻りから打算したプレミアム見當もついたらしく內地の大口申込みはどうも目下の所予等の豫想を溢れて凌いでゐるらしい、之れがために折角堅實な株主たらんとする鮮内の株式應募者の

▲割當て を激減し若しくははらひ落す事となるかも知れず遺憾であるがそこに何等の制限を設けてない以上止むを得ぬやうだ

▲日曜も執務 殖産銀行設立事務所にては十四日日曜にも拘はらず幹事以下囑託員多數出勤執務せり

◎京畿水稻作狀況

京畿道管内水稻作狀況第一回報告發表を聞くに春來降雨少く灌漑水不足を告げ插秧適期に於ては漸く全畓の約五割を插秧せしに過ぎざりしが六月二十二日以降數回の降雨に依り灌漑水頗る潤澤となり管内全部の植付を了せり作付反別は十八萬三千二百三十九町七反步にして前年同期作付反別十三萬零七百二十九町一反に對比すれば一分八厘強の增加を示せりと

◎佐連線修理

不通となり居れる佐世保大連間海底電信線修理のため遞信省作業艦は十三日長崎入港材料等積載の上十四日頃障碍現場に向ふ由なれば復舊期も近かるべく同線開通次第釜山下の關線の修理に着手すべし

◎平壤電氣値上乎

平壤電氣會社にては炭價騰貴を理由とし電燈料値上の申請を當局に行ふべく目下内申中なるが同社の營業成績は前々期並に前期共優良に付當局の許可を得るや否やは疑問なる如し

◎鬼昆布利用方法

咸北道沿岸に生產する昆布特に鬼昆布は其質堅く食料品として不適當なるため其の儘放棄せられあるが全羅北道萬頃居住の今村氏は數年來此の昆布の美味なる滋養分を採り昆布エキスを製造して好成績を收め同地に製造工場を設置し調味並に滋養料として賣出しつゝあるが咸北道に於ても該昆布の產額甚だ大なるを知り今回來北調査する所ありしが頗る有望なるを認めたれば更に具體的調査の末該製造を爲さんと(清津)

◎清津需要石炭量

清津に於ける消費石炭に就て最近調査せし所に依れば昨六年中の消費額は二千六百九十八噸なりしも本年は六月迄に於て既に一千二百二十六噸に達せり而して之れが生產地別は若松炭一千二百二十五噸撫順炭廿三噸を除くの外は悉く地方炭にして其重なるものは秋重炭千五百十五噸坂井炭九十三噸羅南炭七十三噸生氣嶺炭六十一噸等にして生氣嶺炭は從來同地方に於ける主要炭なりしも清會鐵道開通以來舒領炭に壓せられたるものの如し(清津)

◎有松長官動靜

元山へ赴きし有松法制局長官一行は十四日午後六時五十分南大門驛着の車にて再び入京十五日午前六時二十五分南大門驛發南行水原群山木浦各地を視察すべし

北海道より(二十二)

和田天民

北海道の生產總額は大正四年の末には一億五千萬圓を算し大正五年度には二億萬圓に達して居る、大正六年七年は更に躍進することゝ思はれる、此の中最も多きは農產の六千萬圓で水產、工產、畜產及び林產順次之に次いで居る往時は水產業が主たるものであつたが近來は農業の發達の著しきには及ばぬ樣である。

地方費の獨立は明治三十四年以來のことであるが、同年度の豫算總額は約三百萬圓に達して居つて、土木費は其の二割三分、教育費は一割三分を占めて居る、地方費の課稅に依る一戸當負擔は五圓六十錢許である、又區町村費の豫算總額は約五百五十萬圓、教育費、役所役場費、衞生費、土木費などが其の重なるもので、其の課稅に依る一戸當負擔は一戸當十一圓餘に當つて居る

大邱

▲經濟會 大邱經濟會は十六日午後七時より上町在郷軍人集會所に於て例會を開催する由同會は從來隔月開會の筈なりしも爾後毎月開會の事に變更したり

▲分隊新築 大邱憲兵分隊は今回新築することゝなりたるが去る十二日より愈々之が工事に着手したり

▲大邱の獸疫 大邱慶尚北道分隊管内にては例年獸疫の發生を見つゝあるが本年も前月中は十一頭本月に入りてより四頭計十五頭の斃死馬匹を出したるを以て目下之が豫防に努めつゝあり

▲郷澤院長出發 釜山へ轉勤せし郷澤地方法院長は十三日午後四時の列車にて赴任の途に就きたるが官民の見送り多數なりき

▲新任郡守出發延期 高田新任迎日郡守は十三日出發赴任の筈なりしも豪雨出水の爲め出發を延期したり

群山

▲忠南輕鐵進捗 忠南輕便鐵道會社創立準備の爲め去月再び東京に向ひたる阪上貞信氏より最近當地發起人大平德三郎氏の許に達したる情報に依れば東京方面に於ける發起人は實業界一流株の顔觸れにて阪上氏は目下大阪滯在中の由なるが近く認可願書提出の運びに至るべし

▲商議役員會 群山商業會議所にては十三日午後二時より役員會を開催し一、金融組合設立に關する件二、忠南輕便鐵道に關する件三、開港關稅改正に關する件四、群山府外七郡聯合物產品評會に關する件等に付審議する處ありたるが右に關し近く商議員總會を開催し附議すべしと

▲店員講習會 商業會議所主催となり府內商工店員の爲め精神の修養と常識の發達とに資すべく重なる商工店主の賛同を得八月一日より同十五日迄毎夜八時より十時迄講習會を開き講習者の年齢學力能力の程度に依り數組に別ち講習せしむべしと

▲東亞野遊會 東亞煙草株式會社群山販賣所にては本年恰も創設七周年に相當するを以て自祝記念の爲め群山官民有志約百名を招待し十四日黄登貯水池畔に於て大野遊宴の催を泛べ來賓の魚漁を擒にせしめ次で船上に於て盛大なる饗宴を開催すべしと

人事

▲渡邊高等法院長 十四日朝群山へ ▲趙重應子 十四日朝京城へ ▲李完用伯▲李允用男▲閔泳徽子▲趙民熙氏 十四日朝金剛山へ ▲福井武次郎氏(新安州鐵道家) 十四日朝入京山本旅館へ

茶前酒後

◎急變の兆候ありと傳へられたる獨使暗殺後の獨の對露政策は不動

◎動かずと云つて勿論油斷すべきに非ず却て動かざる處に注意せよ

◎内心劍を藏する獨の對露政策は針の如にして然らずや辣を極む

◎獨禍東漸を防ぐには先づ以て西伯利各政府の統一協力を急務とす

◎群雄割據は敵に乘ぜらる、の際あり獨の乘ずるは何時も此の間

◎陸榮廷乙な處を張勳に擬す出來て出來ないは初產と南北妥協

◎切角原官に復して皆ひ勳四等頂戴せし馮玉祥は復獨立を宣言

◎常德を占領するや非督教長老會に臨み神よ内爭を止め給へと禱る

◎去る十二日は張勳復辟失敗第一回記念日として支那では國慶日と云ふ

◎各地國旗を揭げ官衙は休業祝意を表す張段何れの功を記念するか

◎國慶は日本の滑稽に通じ珍談の續出は支那に不若觀者は大喜び也

◎内地にては今年も登山熱流行猫も杓子も山登り爲に逐年山は大荒

◎[illegible]は七十幾名の人夫に風呂桶を擔がせて行つた廣告を貼付る在

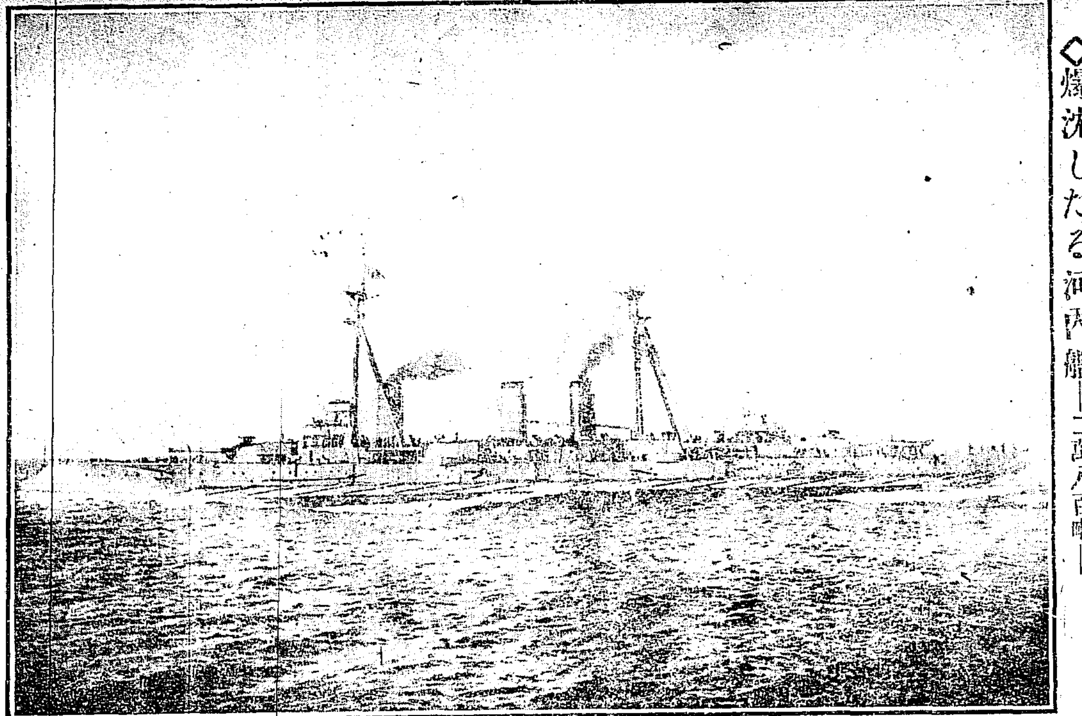
◎白馬も劍山も最早登山趣味は味はひ難く全く俗化すと朝鮮は幸ひ也

◎北新醫博は食物上より三都を見て東京は美食京大阪は惡食と云ふ

◎而し東京人の食物智識は極めて貧弱なりと[illegible]六は惡食の食倒れか

時間表

大正七年七月一日改正現行



◇爆沈したる河内艦―二萬八百噸―

◎軍艦河内爆沈
＝徳山港灣にて
六百餘名行方不明となる

帝國軍艦河内は十二日午後三時二十分徳山灣港口に於て轟然大爆發をなし沈沒せり同艦は二萬八百噸にして乘組員千五十二名中艦長以下約四百五十名は生存呉海軍病院に收容されたるが、其後判明したる殉難者は中村軍醫長竹田少佐井上大軍醫大江機關候補生實吉大尉等負傷 御眞影は無事僚艦に移せりと（徳山特電）

◇重油槽爆發か

河内遭難者は曰く原因は重油槽の自然發火なるべく總員直に應急防火不能と見るや淺瀨に乘り上げんとせしも船體急に左舷に傾き顚覆沈沒したるものなり（大阪電報）

（附記）河内は明治四十三年横須賀にて建造したるものにて速力二十浬を有し十二吋砲十二門六吋砲十門を搭載せる帝國海軍の精鋭なり我國にて建造したる二萬噸以上の最初の軍艦として名高し

◇河内爆沈續報
徳山歸航の博愛丸事務長語る
遠雷の如き大爆音と共に
◇艦長以下四百五十名救助さる

十四日朝入港の連絡船博愛丸山田事務長は語つて曰く、山陽線三田尻富海間の列車不通の爲め本船は下關を十二日午前十時五十分出港し徳山に向ひたり徳山港口には船舶碇泊し居り强風怒濤濃霧の爲め其間を進行に苦心しつゝ午後三時二十分徳山沖合三千町の地點に投錨したり此日鐵道院長谷川副總裁も搭乘し居たる爲め最も敏速に活動せるも何分風波濃霧の爲め唯汽笛を鳴らすのみにて汽艇も來らず碇泊せる本船投錨後三時五十七分約三浬の沖合にて遠雷の如き一大音響起ると共に火柱かと思はるゝ赤黄色の煙中天に立昇りたるが漸くにして碇泊中の河内艦の爆沈せるものと判明せり碇泊の各船よりは探海燈を照して熾んに掃海を爲し其光景悽慘を極め其混雜は名狀すべからず翌日午前十時積込を了し出港せるが河内の赤き艦腹を表したる附近には各船舶及び艦載水雷艇端艇數多前夜より引續き掃海を爲し居たり同艦は攝津の姉妹艦にして二萬八百噸の巨艦乘組員千五十二名中艦長以下約四百五十名生存せりと海軍省は發表せり原因は不明なるが同地方は大時化の中心點の如き觀ありて尠からず救助にも困難の有樣を見たり（釜山特電）

◎西伯利亞政府 義勇兵
大邱で募集か

この程より大邱附近に一露國人來り西伯利政府の義勇兵募集なりとて日本人中より募集しつゝある由なるが十二日當地丸金旅館の客を爲せる西村才市（三〇）（元當地妓館客引）村山作次郎（三七）（元當地丸九旅館客引）の兩人より我等は今回露國義勇兵募集に應じ十日より出發其途に就く可ければ後々の事萬事依頼すとの意味の書面を寄せ來れりといふが彼等の收入は一箇月百五十圓の約束也と（元山）

◎國境の某國旗
義勇兵益々增加

滿洲里より達したる報に依れば某國義勇兵は益々增加し一日平均約七十餘名宛の到著ありて國境の某國住民等のウラーの聲は遠く山野に響き渡り今や某國々旗は各停車場は云ふに及ばず市街至る處に飄々として翻り自動車等に乘込み立て老若男女は手を打振り打振りウラーを唱し居り爲めに[illegible]

ノフ軍團に意氣軒昂目下休戰の狀態にあるも軍容整ひ緊張し來り此處三四日中には一大決戰を試みんとするもの、如し此結果に依り北滿經濟界は又一變化を齎すならん（長春）

◎十四日午前 電線開通
一般電報の大遲延は免れ難し

十二日以來山陽線の豪雨被害のため不通となりゐたる東京京城間電信線並に大阪京城間電信線は遞信當局の鋭意復舊に努力せし結果東京京城線は十四日午前十一時三十分復舊開通し大阪京城線は同十時半漸く通じたるも然も大阪線は障礙稍もすれば生じ午後二時すぎまで通信の完全を保し難かりしも久しからずして通ずべし

◬發著遲延 電信不通三日に亘れるため内地殊に阪方面と朝鮮滿洲相互間に於ける電報の輻輳は莫大なるものあり東京大阪線共開通後十二日受付至急報の發受に著手したるが十三日十四日に及び更に局報の送受をなし漸く一般電報に及ぶものなれば延滯し居れる電報の兎に角一掃するまでは少からざる時間を要すべしと

日夜の形勢如何に依りて下關局へ電報を發し照會する所あるべしと

◎當分缺航勝なるべし
連絡船不足

既報の如く本月初旬以來關釜間は濃霧風浪の爲め屢々連絡船の缺航難航を見て内地、滿鮮間の連絡を缺ぎたるが又々十日の大降雨にて山陽線徳山三田尻間の不通もありたるが復舊見込十日間の豫定なる由にて關釜連絡に依り東上せんとする者は十一日午前十時より關釜連絡船を以て下の關より

◆徳山間を航行する事となりたるが目下壹岐丸は入渠中にて四隻の内一隻は下の關、徳山間に臨時就航すれば自然不足を來し荷客輻輳の際徳山に連絡を計りたる爲め十三日午前下の關著の高麗丸は十三日午前出帆釜山に[illegible]は缺航せり而して十三日午後[illegible]丸は乘客及び[illegible]の儘十四日午前釜山に入港したるが如き

◆辛うじて内地との連絡を計り居る事とて荷物の積込の間は無く[illegible]の如きの船繰を以て航行するならん（釜山）

◎四百戸濁流に取り卷かる
兒山江の洪水

十日夜來の豪雨にて避日邸を流るゝ彼の兒山江は著るしく增水し十三日午前九時に至り江水氾濫し江岸に在る上島洞外三洞三百七十五戸二千六十二人は濁流に取り卷かれ宛然孤島の如き狀態となり之れを見たる附近消防組員は總出となり罹災民の救助に努めたるも何分激流にて船の操縱意の如くならず止むなく行動を中止し幾分の減水を待ちつゝあり被害の程度に就ての詳細は目下調査中にて判明せず

◎神戸以東の郵便物
まだ一つも來ぬ

山陰山陽兩鐵道の被害に伴ひ郵便物は總て汽船便に依り神戸と下關の間を聯絡する事となりしがこの間を汽船便に依る時は約二晝夜を要すべく從つて到著差立共に夫だけ遲延を免れざるべし、鐵道不通以來内地便の京城局に到著せるは下關九州方面の分のみにて東京大阪方面の分は今尙到著せず十四

◎自動車と電車
衝突・乘客無事

十三日午前八時三十分頃京城南大門通二丁目京春自動車部の十二號自動車に乘客を滿載し鐘路五丁目の電車線路に沿ひて疾走中龍山發東大門行きの七十號電車が進行し來り互に避けんとせしも及ばず遂に衝突して自動車は車輪を破壞され損害約六十圓位なるが幸乘客等に異狀なし

◎龍山驛の構内で慘死

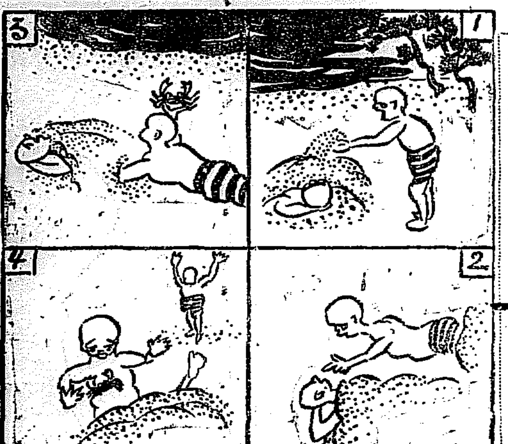
龍山二村洞居住の康錫石（三七）は滿鐵龍山工場の人夫として從業し十一日朝十一時頃龍山驛構内にて作業中誤つて列車に轢かれ全身を粉碎されて慘死せり

◎漢江投身未遂

京城仁寺洞朴姓女（二五）は十一日朝龍山漢江橋に到り增水中の激流目蒐け將に投身せんとする所を龍山憲兵分隊の補助員が抱き止め同人の男を呼び出して引渡せり同女は先頃より精神に異狀を呈し居れりと

◎龍氏夫人の訃

[illegible]



毎週ポンチ◇◇砂風呂◇◇助太郎畫

◆凸坊と茶目助海のなかで、さんざ茶目振りを發揮して暫時砂風呂で龍發仕様と凸坊の發起茶目助の贊成で此所までは無事に成立した

◆先づ發起人の凸坊が砂の中に兩足から突込んで首から下に砂をざんざん盛上げてもらつた

◆今度は茶目助の順番オイ凸坊僕にも砂をかけてくれいと申込んだので凸坊ニヤリと笑ひながら茶目助そんな馬鹿な事が有るものか第一君に砂をかけてやると約束もしてゐないし、それに僕が君の爲めに働けば今度は誰れが僕に砂をかけてくれるのだ賢明なる君にも似合はないではないかフフン

◆茶目助大に憤慨したが仕方がない何か逆襲をしてやらうと考へてゐると凸坊いゝ氣持に眠つたので早速大きい蟹を生捕つて凸坊の傍に埋めた、暫くすると凸坊が顔がチクチクするので目を出してみると蟹の野郎胸にぶら下つてゐるのでヒヤー、遠くにゐた茶目助此所ぞ許りオイ凸君賢明なる君にも似合はない海岸に蟹がゐる事を知らないかフフフン

讀者文藝

▲一口噺『時事』

◎大刀魚の鱗から眞珠が出來ると云ふ事を見た奧樣『魚屋さん鱗は別にして置いてお吳れよ眞珠を造つたら一匁五圓にもなるから……』（一等） 京城南大門通五 日良木店 永有道太郎

▲甲『天保米を賣り出した者があるさうだ』乙『ヤツパリ天保の價格で一升が八合にしか通用しないだらう』

▲客『近頃豚肉に豚肉を交ぜて賣る者があるさうだがお前の家ぢやそんな事はすまいな』商人『どうしまして手前では豚の中に鷄を交せて賣ります』へイ 義州 松月

▲讀者『近頃豚肉を鷄だと云つて賣る奸商があるさうだ』知つたか振り『矢張り羊頭を掲げて狗肉を賣る輩だね』 龍山 多美郎

商業登記公告

支配人選任。支配人ノ氏名住所京城府本町貳丁目九番地小田庄三郎 支配人ヲ置キタル場所神戸市兵庫東川崎町貳丁目壹番地合名會社鈴木商店京城支店 右大正七年七月九日登記

合資會社京城日報社無限責任社員阿部充家ハ大正七年六月參拾日其ノ持分全部ヲ京城府旭町壹丁目百參拾番地加藤房藏ニ讓渡シテ退社シ同人ハ新ニ無限責任社員トシテ入社シ[illegible] 右大正七年七月拾貳日登記

株式會社朝鮮商業銀行ハ大正七年七月拾貳日各新株ニ付金拾貳圓五拾錢ノ拂込ヲ請求シ各新株ノ拂込金額ヲ金參拾七圓五拾錢ト變更シ 右大正七年七月拾參日登記

京城地方法院

職業 原紙行與還近朝女 自宅で誰にも出來るキレイな手仕事 年中無休日收壹圓 一周半確實詳細見本付說明郵券拾錢要す（特約店募集） 東京淺草橋前 朝日商會總店本

鴨綠江原木萩産杉 足場丸太秋田杉挽 角板類青竹杉皮 セメント及石灰其他 内地材直輸入 卸商 平野材木店 本店大邱 電話四五七二一 出張所 釜山驛前

雲母買入 名古屋市東區横代官町二 千倉昂

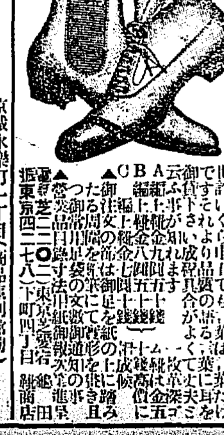
大連燒酎 特約販賣店 仁川 河野本店 京城 河野支店 木浦 阿邊儀商店 同 山口號本店 同 山本酒店 群山 山口號支店 同 長谷川商店 釜山 增永商店 同 山邑支店 鎭南浦 吉富商店 大連市大連燒酎製造所

林病新藥 ツヨール

八木田博士御處方 島田博士御鑑査
アナタの胃病にはマーゲン
强胃消化錠
本劑の特色 二博士御處方の本マーゲンは[illegible]
大阪市東區上本町五丁目 田畑保樂房

滿洲にして涼しい新築の客室を有する丁寧な旅館は 平壤幸町通り憲兵隊前 朝日旅館 電話四〇九番

耐火煉瓦
▲蠟石煉瓦（三十番より三十四番）
▲シャモット煉瓦（三十番より三十四番）
▲ダイナス煉瓦 ▲マグネシャ煉瓦
▲耐火モルター其他 耐火物各種
平壤府橋口町（電話貳五番） 合資會社 京谷商店



編上靴 深ゴム靴 一枚革
値段は高いが絶對確實なら安心です世評いくら中上でも品質の悪い靴は御免下されより成程具合がよく丈夫です
[illegible]
東京芝二〇二 振替東京四二七八 下町四丁目

内科 小兒科 村上病院 京城永樂町一丁目（商品陳列館前） 電話六二三番 院長 醫學士 村上龍藏 副院長 得業士 瀨々鈞郎

電鈴と乾電池 京城朝鮮銀行横 電話二二〇 ヒオキ商會

◎電車事故頻發

◎水害の後

◎連絡船上陸客 十三

課題 募集規定

大阪 小雨後曇

……[illegible]……日午前九時五十分頃竹添町三丁目……[illegible]……電線切斷のため麻浦行き電車は一時中絶せり
……[illegible]……銅路三丁目居住支那人曲票山（三十）は十三日午後七時五十分頃自宅附近にて進行中の六十四號電車に……[illegible]……
◆淸州鳥致院間　一度復舊し自動車の運轉を見んとする折柄去る八……[illegible]……
◆淸州忠州間　達川附近の橋梁二箇所破壞し白馬山の……[illegible]……技術員の派遣を請ひ大々的工事に著手する由（淸州）

流燈數千！　篝火幾百！　打揚仕掛！　煙火繚亂！

◇朝鮮故例の壯絶偉絶なる一大快擧は　◆我社年中行事の一として　◇大漢江の流域沿岸＝水上＝沙上を開放し主催せらる　◆會期は來る七月二十日（土曜日）　◇雨天順延二十一日（日曜日）　◆幾萬觀火諸君と共に　◇燎火炎々たる大偉觀に抃舞せむかな

漢江觀火大會開催

主催　京城日報社　每日申報社

◎盛況に伴ふ弊害
＝養蠶業の發達と種々なる故障＝（下）
忠南道長官　上林敬次郎氏談

以上述べたことは蠶業上誠に寒心すべき惡風でドウしても矯正せねば蠶業の發達を阻碍すると甚だしいものと思ふ其矯正方法としては警察上の取締を嚴にすることゝ司法上の處分を勵行する外はない一貫匁や二貫匁の桑を盗んだ位で處刑するのはかあいさうだ抔と言つて居ては何時迄經つても桑泥棒は盡きぬ本年春或內地人が多數の小作人に苗を配付し桑を其耕地に植ゑさせようとした所が小作人の全部が桑を植ゑるのは忌やだと承知しないといふ事で其內地人が予に向つて蠶業奬勵は未だなかなか徹底して居らぬとコボして居たその小作人の眞意は知らぬが蠶業はしたいが桑を植ゑるのは忌やだと云ふのは恐らく農民大多數の思想であらう如何に無智なる下層農民でも蠶業に桑の必要位な事は知つて居るであらうが桑園を作れば番人を附けても尚盗難の虞があるので之を恐れて忌やがるのも多いだらうと思ふ故に

桑泥棒の取締が
行屆かなければ栽桑の奬勵も成功が甚だ困難である本道では今後桑の準備なくして養蠶をする者は假借なく蠶種蠶兒の廢棄を命ずる積りである酷だとか何とか理窟を言ふ者もあらうがソンナ屁理窟を言つて居るべき場合でないと思ふのである鮮人が不完全なる蠶種を自製して養蠶する者もあるやうだが是亦嚴重に取締ることにして居るが商人が自由に掃紙を賣り付ける事も種々の弊害を生ずるもので本道では各郡に蠶業組合を組織せしめ組合の規約で取締る事として居るが固より不十分である然るに總督府が未だ之に對する適當の取締規則を作つてくれぬのは甚だ遺憾千萬である是等の點の取締が出來なくては今日の蠶業の盛況は一時の現象に止り永遠に禍原を貽すものである

出來上つた繭は
各郡毎に共同販賣を行ることにして居る是は總督府の方針で各道同一であるが郡廳では共同販賣の事務に忙殺せられ一時は普通の事務を執るに差支を來すのである是は忍ぶべきであるが此の共同販賣は農民に取つては餘り有難くは感ぜられて居らぬそれは繭と引換に代金を受け取ることの出來ないのと三升五升の繭も數里の遠きに持ち出さねばならぬといふ不便があるからである從つて繭買商人が各部落へ入込んで盛に買占を行る郡廳や面の吏員がイクラ説いても自由賣買が止まぬ此の方法は相當改善の途があると思ふから本道は是非之を改善して商人の

不正買占の弊風
を打破したいと計畫して居るのである、商人の買占に値段を高くして桝目で瞞着する位は普通であるが本年抔は一層甚だしくなつて繭を持つて居る者と見れば途中に强要して奪ひ取り本人が承知しなくても金を渡して追遣すなどは尋常事とされて居る買手は內地商人又は其の使族に依る鮮人で繭の持主は質朴な田舍の鮮農であるからイクラ無理があつても裁判沙汰とはならず泣寢入になつてしまふのは彼等の增長を促す所以であらう故に是も一面には警察の取締の嚴重を望まねばならぬ（公州）

◎哈爾賓の新政府
宣言書發表と各國領事の態度

ホルワット將軍は豫定の如くグロデコーフに於て臨時政府組織を發表し自己の國家的全權力並に國民の秩序恢復と露國の國防を制定すべき一般自由選擧に依る立法會議組織までの同政府の權限を上下に宣言したるがこは哈爾賓が支那の領土內たるを以て政府を組織し得ず、さりとて後貝加爾方面は尚ほ形勢定まらざるを以てグロデコーフに於て發表したるものにして其の權限はカルイムコフ軍が占領したる地域內に止り又東清鐵道とは別個の物たり尚ほ新政府に對する當地各國領事團の態度は未だ決定せず其の顏觸は次の如くなるべしと（哈爾賓）

ウストルコフ（前交通次官にして東清幹部の主任）オストロチン（前國會議員）タスキン、クールスキー、オコロコフ氏及びプトチロフ（露亞銀行員）フループ（前沿黑龍州知事）グルハーレフ氏等

◎平壤に出來る製材株式會社
◆有力者の出資にて◆

平壤に於ける近時事業界の勃興に伴ない一般建築界亦從て膨脹の域に進みつゝありて是等に要する諸材料の入荷逐月增加の趨勢を示し來れり殊に材料の主眼たる木材に於ては目下鴨綠江材を新義州經由にて供給を受つゝあるも價格其他不便不利少からざるを遺憾とし曩に平壤木材商富田氏の獨力經營にて製材所設置の計畫ありしも其後氏が消息を聞かざりし處更に過般來平壤の某氏は同樣の計畫を立て株式會社として定款の草案まで出來上りしが近頃に至り漸く製材所設立の急を認め中村組、片倉組其他有志者十數氏に依つて資本二十萬圓の株式會社を設立し第一回四分の一拂込にて製材機械を購入し工場を平壤船橋里稅關出張所附近に設け平壤電氣より動力の供給を受け材料としては主として鴨綠江產の原木を用ひ尚ほ安州郡奧地よりも九龍江を利用して流筏し之を以て平壤及び附近の需要に充つべき製材を爲さんとの計畫漸く成り近く發企人を選定し創立委員を設け委員會を開き一方當局に許可申請の手續を爲すべく目下諸準備中なれば遲くとも八月中には具體的發表を見るに至るべしと（平壤）

◎逼迫三理由
間島の金融界

間島財界の金融逼迫は今が絕頂で此難關を突破するには非常なる努力を要する夏季金融逼迫に離隔するは例年の例であるが今年は別して本前の難色を呈し商家の煩惱は其極にある此原因を檢するに三つの理由がある

▼一の原因　年來輸出の好氣配を當込み思惑振を見せて多量の輸入を圖り在らゆる倉庫に貨物の山を築かせたものである所が市況の閑散は此上もなく貨物は少しも動かぬといふ有樣である是れは農民が土地の買付に走り得たる現金は其方に吸收されてしまつたのと吉林官帖は依然向上の氣配を見せず沈靜勝なる

▼二の原因　の外連日の雨天にて交通を妨げられたので彼是不利なる原因が相合體して貨物は倉庫を離れる機會も得ない是金融逼迫を誘致せしめた主なる

▼三の原因　であるが此窮狀を打開するには只吉林官帖の變動あるのみで此處暫く金融逼迫は益々窮感を加へるであらうとは斯界の觀察である（間島）

◎仁川より請願

仁川に於ける沿岸貿易場は主として現在は海州棧橋の西北方仁川驛裏附近の繼岸を使用しつゝあるが元來現在の揚陸場は月尾島に通ずる所謂築港第三期工事築堤の完成せざる限り繫留帆船の風波の難に逢ふ事甚だしく殊に仁川驛裏に新設の繫留りは事實上現在の處一朝風浪の襲來に際して避難するを得ざるの不便あり之等の爲め漸次仁川入港の沿岸貿易船數を減じ之を現在のまゝならしめば遂に仁川の商況を衰退せしむるの恐れなしとせず故に月尾島築堤の完成と築港閘門の西北方埋立沿岸即ち稅關構內として通關貨物の取扱ひを爲すべき個所に決定せる二部を割いて殊に沿岸貿易場に充てられん事を希望し去る七月八日附を以て仁川穀物協會會長吳田貞次郎氏及び仁川物產客主組合長張錫佑氏連名にて長谷川總督宛左の請願書を提出せり

我仁川築港工事は施設御多端の折柄特に十年の歲月と巨萬の工費とを投ぜられたる大事業にして近く其の完成を見んとするは當港在住民の最も感激に堪へざる處に御座候然るに該工事の進捗に伴ひ從來使用し來りし斗基場は極めて恰好の場所有之候處其の前海面を悉とく埋沒せられたる爲め海岸線に遠ざかり沿岸各地より來る船舶の揚陸其他に不便を感ずる事に相成候就ては特に稅關構內の一部即ち海岸線に添ひたる沿岸貿易荷揚場に接したる場所使用方法を認許するの特典を得候も何分にも該場所は今日の狀態にては一朝風波に際會しては潮流の關係上直ちに船舶の遭難に避難する事不可能なるため繫留船舶の遭難は必ず自然一般鮮人をして危險且つ不利の念を抱かしめ漸次朝鮮船舶の入港數を減退しつゝある傾向あるは眞に遺憾の現象にして斯くては當港の貿易上甚大なる惡影響を來すは勿論延ては築港御施設の旨意にも悖る結果を生ずべきかと被存候就ては之れが救濟の一策として鎖切（事　萬石洞月尾島間）完成の時期迄で洲紙朱線の地域沿岸貿易用荷揚場に斗揚場として一般に使用方特別の御詮議を以て御許可被成下候はゞ單に當業者のみの便益たるに止まらず仁川港の貿易發展上多大の効果を奏する義と存申候右謹で請願仕候也

◎何故下りし乎
生牛と牛皮と

諸物價奔騰に伴ひ著しく騰貴せし生牛及び牛皮類は本年三月頃の天井相場を其儘六月中旬まで持續せしが平南一帶に於ては六月下旬より本月上旬に至り漸々下氣配を示し現在に於ては高値より約二割の低落を見るに至れり而して現今の市價は生牛百圓內外より百二十圓見當、牛皮は牛皮にて百斤二十八圓より三十八圓位なり而して此が原因に就ては目下當廳に於て調査中なるが何故落せしか商人も一寸氣迷ひ居れり（平壤）

◎郡守會議
忠淸北道廳に於て十三日より三日間郡守を召集會議を開く（淸州）

◎安東銀行總會　安東銀行にては十三日公會堂に於て定時株主總會を開催し本年上半期の營業報告及び利益金處分案を可決したるが今期利益金及び前期繰越金は五萬六百六十七圓五十錢なり而して處分案左の如し（安東縣）

（法定積立金）二五〇〇（別途積立金）二五〇〇（行員賞與及恩給基金）一〇〇〇（配當金一割二分）一〇、五〇〇（役員賞與金）四〇〇〇（後期繰越金）四六六七五〇

朝鮮通過の外國人
◆八百八十名の來往◆

（平壤驛調）平壤驛經由朝鮮通過の外國人は六月中の通過者は南行百五十名、北行二百三十名として前月の通過者に比し著しく少數なりしは同月十八日迄に伊太利捕虜轉校及び其他三百六十八名の通過ありしに因るものなり尚ほ其他通過外人は南北行共最も多しと（平北）

◎松の入札拂下　東萊郡鐵網面全成里金井山模範林の赤松立木三千八百二十一本材積一千二百三十九尺締を一般入札に附し拂下ぐる由なるが該入札保證金は見積り價格の百分の五以上にして七月三十一日東萊郡廳にて入札すべき由なれば希望者は釜山府廳又は東萊郡廳にて入札要項を承合すべしとなり

◎釜山穀高　釜山共同株式倉庫會社の十日在穀高左の如し　玄米三萬三千二十九俵、白米二千四百四十俵、大麥二千二十八俵、小麥二百八俵、大豆一萬二千、粟五千二十五俵、雜穀二十四俵、外國米百七十六俵、籾一千二百二十五俵而して同會社にて目下工事中の新倉庫四百坪は本年九月中旬竣成の豫定なりといふ（釜山）

◎開城學校組合　開城學校組合評議員改選の結果左の如し（開城）
宮崎金藏、白井水城、都榮武助、中村勇之助、久野傳次郎、萩原恒四郎、水野源郎、平塚太郎

◎思ひ〳〵の外國人避暑法
◎居住するもの轉地する者　或は西洋型の屋形船を江上に浮べて涼を取る者

平壤在住外人は昨今漸く前年度に於ける宗教上の要務を終了せしを以て暑中休暇を利用し各地に避暑するもの多く中には米國に歸朝せしもの等ありしが此の內牧師宣教師等に避暑せしものはパーカ氏夫妻、ライラム氏夫妻、ハートニース孃、スワーレン氏、バイレハイド氏等黃海道無金浦へ、レーボン氏、アンーダーソン孃、ドクス孃、ブッシ孃等は元山へ既に避暑しモット氏は家族を大同江に浮かべ避暑すべく目下準備中なりと（平壤）

慶北共進會

◆踏水鉛鑛　星州郡草田面龍鳳洞に於て採掘中なる奧川三之助氏經營の踏水鉛鑛を出品する由
◆鑛石出品　慶南工部工務課商州出張所より同地採掘の金鑛石三個二十五貫を參考品として出品す
◆熊平商店　京城熊平支店よりも品評會に對して今回店員を派遣し諸種の打合を爲さしむ
◆事務員採用　北道會事務員として宮崎六次（庶務係）涌谷信義（會計係）の兩名今回採用さる

◎財務係主任會議

◎忠南　忠淸南道財務係主任郡書記事務打合會を十五日より十七日まで開く日程左の如し（十六日）道長官訓示及指示事項（十七日）稅務に關する打合及諮問（公州）

◎慶北　十五日より三日間慶北道廳會議室に於て開催せらるべき管內府郡島財務主任會議日程如左
（十五日）稅長官訓示地稅に關する指示打合（十六日）地稅に關する打合（十七日）煙草稅令に關する指示打合（大邱）

◎學習院生徒團

東京學習院高等科生徒及び職員四十名を以て組織せる支那及び朝鮮視察團は來る十七日神戶港出帆大商丸にて青島に上陸同地の戰蹟其他を視察しそれより濟南北京、張家口、天津、大連、旅順、奉天等の戰蹟及歷史的視察を遂げ八月七日午後一時二十七分平壤着の豫定にて同日は市街、牡丹臺乙密臺其他一般古蹟を探り八日午前一時三十三分發列車にて京城に向ふべし（平壤）

◎滿洲兩銀行合併

安東縣の滿洲商業銀行と奉天の南滿銀行との合併は旣に假契約をも締結し十二日午後四時より百株以上の大株主會を臨時召集し該經過の報告及び協議をなしたり（安東縣）

◎滿洲の競馬場は
大連か奉天か＝淺川長官の意見

先般滿洲各地を視察せる淺川馬政局長官は各地に於いて馬匹改良に關し講演をなしたるが之れに刺激せられたる大連其他に於て早くも競馬場開設を計畫せる者あり長官は滿洲に於ける競馬場としては交通の中樞たる奉天を最良とすこの意見にて且つ政府の政策も馬匹改良なる大目的遂行の爲めに從來のそれよりは大いに手加減を加へる事となり居れりと因に奉天に於て最も有力者中に該業創立の計畫進行中なりと

農信

◇忠淸南道水稻◇

先月下旬に於て百五十餘粍本月一日二百二十餘粍の降雨ありたるにより錦江沿岸の低地は悉く浸水したる狀況なるが之と同時に各地とも灌漑水潤澤となり揷秧は道內水田の殆ど全部に對し遺憾なく行はれ農家は嬉々として出來秋の豐穰を祈りつゝあり本月十日に於ける揷秧總面積は十四萬二千六百六十一町步にして之を前年の水稻作付面積に比すれば一厘減即ち二百三町步少きも之は麥取入の遲延したると水害地の復舊せざるものあるに過ぎず（公州）

◎朝飯を喰た人が百五十八人の中で
＝たつた三人＝珍しい船の搖れ方

十二日釜山入港高麗丸の乘客の少なかつた事は近來に無數で僅かに百四十六名其の內二等が二十七名三等百十九名で一等は一人もなかつた航海千數百圓の費用を要する連絡船もこれではやり切れないが其レソレも其筈同夜の大荒れは一通りでなく船員さへも大分弱つた位でアッチの隅にもコッチの隅にも苦さうな唸り聲が聞ゑて船員さへ船に苦められたものもあつたさうだ、十二日の朝船が五六島沖に來ても幾分風波も靜まつた樣だつたが朝食を喰べた人が僅三人とは珍しい事である（釜山）

◎大邱驛に喫茶店　大邱驛にては今回驛上に喫茶店を開設する計畫にて豫て營業者山田沙野より滿鐵京管局へ願出中なるが不日許可らる、見込なるを以て其曉は工事請負に附し直に起工八月十五日頃迄に落成せしめ九月一日より營業を開始するに至るべしと（大邱）

◎淸州の圍碁會　本社淸州支局及び淸州に於ける有力者發起となりて十三、四兩日三余俱樂部にて圍碁會を催ほせり（淸州）

◎一日に七頭の牛を食る釜山の人
魚がメッキリ高くなつて

魚がメッキリ高くなつた風雨や濃霧で出漁が出來ぬので漁獲した魚類の値段の高い事と云つたらお話しにならぬ其の反動で鷄や豚も高くなつたと云ひ乍ら昨今牛肉の需要は一通りでない、そこで釜居會社に聞いて見ると先月の屠牛數は五十三頭であるが本月は十日迄に牛丈にモウ三十五頭をつぶしてゐるので釜山府民が平均一日に平げてゐる牛は三頭半の割合となる、一斤三四十錢の牛肉が昨今では六七十錢の高値を示してゐるがソレでも魚より安いとある（釜山）

何んでも値上（大邱）
藝妓花代値上のこと

諸物價の暴騰は遂に北柳界にまで響いて從來の藝妓花代七十錢では迚もやつて行けぬといふ處から擧げて大邱券番藝者から非鄕に對し値上げを願ひ出てゐたが愈々藝妓の花代を八十錢とし舞妓の五十錢を五十六錢に、三十五錢を四十錢にする事に許可が下りたので時間の計算も一時間半、二時間に、一時間以上卅分未滿でも一時間半に、其の三十分以內でも卅分として計算する事となつた（大邱）

蠶況
忠北繭共同販賣

忠淸北道主催繭共同販賣は六月十日より六月三十日迄の間に於て淸州沃川永同陰城忠州及び堤川の六箇所に於て開市されしが其販賣成績は永同堤川を除くの外全部調査濟にして昨年の乾繭共同販賣高に比し出廻り殆んど倍額に達し約二千三百石其價額は無慮十七萬圓にして購買者は淸州及び沃川は片倉組其他は福井好七商店京城出張所にして最高値一石に付き百十圓を示せり（淸州）

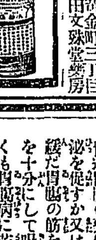
淸州	五三五	三九、三〇四	七三、五五
沃川	三九二	一九、二一五	七四、七八
陰城	三八八	二九、六四六	七六、三三
忠州	四八六	三一、六五二	六九、三八

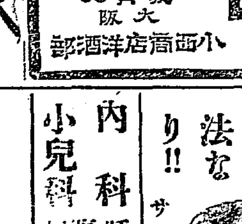
不思議に効く乳の出藥

乳の出なき爲に止むを得ず牛乳ミルク等で育てゝ居らるゝこれ程危險な事はない永年苦心の上發見した乳の藥（乳の出）は如何に出なき人にも一週間。一週間服用すれば牛乳ミルクも忽ち不用となる不思議に効く妙藥なり乳の出ない方は一日も早くハガキにて御問合せ下さい
大阪市東區東雲町停留所前　東京下谷西町二ノ上神社側　乳の出發行所　いづみや藥房

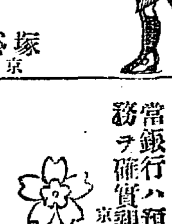
わきが
是迄他の藥を用ひ効なき方は特効藥ファーザーを御用ひあれ　一個六十錢
京城黃金町三丁目　山田文殊堂藥房　電話二九四九番

純良赤門葡萄酒
福岡京都大阪大名大學藥局ニ於テ醫藥用トシテ御採用





本品ハ一滴ノ混和物ナキ純良無比ノ生葡萄酒ナルガ故ニ滋養强壯劑トシテ日常飲用スベキ好飲料ナリ
發賣元　大阪　小西商店洋酒部



フケトリ　カユミ止
[illegible]
東京　塚谷出張店　京城本町

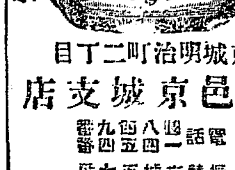
男の生殖器病
專賣特許眞空療法器を自宅で簡單秘密に使用せば生殖器發育不全、包莖、陰萎、早漏、遺精、腦神經衰弱等諸病は容易に治す二大醫學博士も其實効を證明し實驗者の賞讚多く其如何に御申込あれば無代送付す　東京神田かぢ町五　眞空療法研究所　電話神田七二三番

新荷着　銘仙ゆかた地
◆目地、かすり、縞、格子類　及び海色地で　一反　金拾圓より金十二三圓迄
輕くって涼しい、その着心地を味ひ給へ
◆地方よりの御注文は男女年齡柄向きの御嗜好等御申越し下され候はゞ必ず適當の柄相選み代金引替を以て御送り可申候
京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

胃腸病とタラコン
普通胃腸藥は唯だ一時の消化を助くるか無理に胃液の分泌を促すか又は胃液を中和するだけですが此タラコンは弛緩せる胃腸の筋を引締めて其活動を順調にし胃液を整へ消化を十分にして吸收を好くし本統に健全な身體となります如何なる胃腸病に苦しむ方は是非御試し被下
散藥五十錢一圓二圓　丸藥一圓一圓九十錢　送料八錢海外卅錢
本舖　東京小石川下富坂町廿　無量壽藥園　電話小石川二九五　振替東京二〇〇二

痔疾專門　京城久枝肛門病院
いぼぢ、きれぢ、はしりぢ、ぢろう……
入院隨意　京城明治町二丁目本町より入る　電話二一〇一番

比較は最良の撰擇法なり!!　サクラ正宗



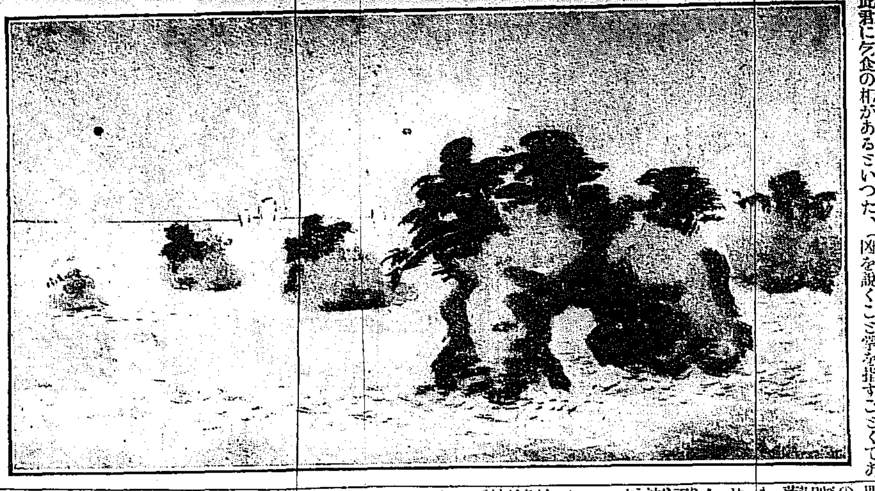
京城明治町二丁目　山邑京城支店　電話八四一、九四五　振替京城五七番

內科　呼吸器病　腸胃病　小兒科　婦人病
今村醫院　京城若草町大通り　電話一八三二番

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城　本店　振替貯金口座京城一一〇番
支店　東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、龍井村、鄭家屯、上海
出張所　右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

京城本町一丁目江戶川橫　岡本齒科醫院

塚原卜傳
第百三十六席 悟道軒圓玉口演



最上の家來杉山半齋こいふ相學者が彈正左衞門の顏を見て三日を出でぬ中に刄に罹つて落命する相があるこいつて注意をしたのを用ひず兵庫が格別氣にも止めず捨て置いたのは所謂運の盡きであります、一體相こいふものは奥妙に出來ないもので喜怒哀樂總て人間の面に浮ぶから一目見れば直ぐ判る、往古唐國に一人の王があつて榮華を極め何不足なく日を送つて居るこ一人の相者が來つて王の面を見て此君に乞食の相があるこいつた、王を初め臣下の者共まで笑つて誰一人之れを信ずる者はなかつたが、或日獵狩に出るこ俄かの大雨、雨具の用意もなかつた處から僻なる民家へ入つて雨を避けられた、時に王が非常に空腹を感じられたので其の家の主に命じて食物を整へさせ之れを王に差上げるこ王様は喜んで、其食を召されたが至つて粗末な物であるが飢ゑたる時は味を撰ばすこいふ通り、非常に美味であるこ思召して召上つた、さて久時休息して居たが雨は益々烈しく降り來り、止みさうもないに依つて何時まで民家に居られる譯にも往かぬから御歸城に相成つたが其時雨具の代用に右の民家から蓑を召されて之れを裝束の上に着し、雨を避けてお歸りになりました、時に王が手を拍つて先日の相者が既に乞食の相があるこ申した、其時は一笑して取合はず居つたが今日計らず民家に入つて食を求め、蓑を借り受けて雨を凌いだのは之れ明らかに乞食の境界である、假令だ相者に恥づこ存せられ、其後相者を召され厚く賞されたこいふここがある、日本にても昔しは安倍晴明なごは相をよく悟りました又作則晴雁平などいふ人は、人の相を見て吉凶を說くここ掌を指すごこくであつたこいふここは今昔物語にはじめ數々の書物に見ゑて居りますが決して侮つてはならぬものでございます、されば佐竹彈正左衞門も遂に運命盡きて松島の濱邊に於て討たるゝこいふ前兆は其夜の中に顯はれたものこ見ゑる、お話は戻つて塚原小太郎、師伊勢守の一言に依つて大勢の同門の人々が力を添へるこいふここに相成り小太郎に於ても勇氣益々旺んこなり、茲で支度して師秀綱に暇乞ひをして出立するここになりました、秀綱も大に其孝子の勇氣を賞し力を付ける、鳥山下國等の老人は反つて足手纏ひになるばかりだから上泉の道場へ殘し置きまして、照代は強ひて供をしたいこいふのを之れも殘し、小太郎は仁科與四郎だけ連れて行くここになつた、相伴ふ人々は柳生又左衞門、神後伊豆、疋田文五郎、丸目藏人、戶塚源藏、淺山三五郎、西條熊之進、由井八郎、宮原一傳、梶原新藏、神谷傳藏、千葉小六郎、之等の人々を初めこして其外の門人總勢三十八人、尤こも之れだけの大勢がソロソロ繰出したのでは目立つて工合が悪いから二人三人位ゐづゝ別れ別れに途中は思ひ思ひの姿をして乘込むここにいたし、小太郎ご仁科與四郎は一足先に笠輪を出て、其餘の人は後から本街道を行くもあり別街道を行く者もございますが、落合ふ處は奥州鹽竈こ定めてありますから、互ひに合圖を示し合はせて乘込んで參りました、名に負ふ上泉伊勢守取立ての門人、四天王或は八天狗などゝ稱されたる劍法者が三五十人も揃つて乘込みいふのは前代未聞の壯擧であります、さて愈々時來つて永祿八年八月二十六日、奥州松島五大堂前に於て塚原小太郎勝義、佐竹彈正を討取るこいふ勇ましき一條は次席に引續いて詳びらかに口演いたします。

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

暦
七月十六日 九星 舊六月九日 甲子 本命三碧 東 反 友引

▲三碧 努込手義の事有日新事見合 坤の方は吉晴劍東▲四緑 律のよき日物事旅行入學名出求 職金件婚姻相談に吉▲五黃 忌は新事有日新事手控へ▲六白 一寸事は吉一切のかけ事を禁す 一ぱい喰ばんとす新事手控へ▲七赤 不貸の事有日取引は用心▲八白 愛想のなき事有日新事手控へ▲九紫 數流の日轉居旅行入學求職 縁談婚禮吉▲一白 諸事手控へ▲二黑 あやふやの事有日新事手控へ吉 保證紹介等を禁ず

最上清酢 日本一 マルカン印

最上醬油 ほまれ味噌
日本醬油株式會社
京城出張所 電話二四五番

演藝案内

富の道しるべ 山縣五十雄村上唯吉共著 價十五錢 郵稅二錢 京城日報代理部 東京…振替三〇〇

壽座 京城壽町 電話五七八
新派さゝ浪會一行 當る七月十五日第六十三回目『俠藝妓』全九場

大正館 櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 當る七月十二日より特別興行 ○マニラ製糖會社 △米國バイタグラフ會社特作 ◎泰西活劇『死の列車』全四卷 ◎『ジョン』二卷 ◎滑稽活劇『コンクリンの蠻勇』

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番
當る七月十日より開演 ▲東京落語樂會一行 出演順▲落語(物まね)遊玉▲落語(手踊)圓一▲落語(音曲)笑三▲落語(手踊)遊生▲落語(音曲)花柳▲落語(手踊)木鶴▲落語(音曲)花丸▲人情(落語)圓洲▲大切(喜劇)總出 ◎入場料は特に從前通り大勉强

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話(南山下)二〇五番
米國ユニヴァーサル會社特約 當る七月十二日より公開 ◎第四回『ダイヤの一』第七編 獅子爪 第八『歌の巣』 ◎人情劇『父の爲めに』全五卷

黃金館 京城本町 電話二三六七
天然色活動寫眞會社京城出張所 當る七月十二日より特別大興行 ▲新派悲劇『裏の裏』三場 ▲米國大活劇『バテンハサ』全四卷

壽館 京城本町 電話一〇五〇
新派喜劇『惜しき涙』 七月十四日第六回替り ○一番目『國定忠治』全三幕 ○二番目 新喜劇 ○三番目『食劍の行方』三場

月やく

つかえ 時々嘔吐を催し足腰下腹痛み逆上頭痛等となく甚しく…… 東京四谷 大阪北區 森田屋

職業 日韓專賣特許輸出品製造 … 上田本店
質 大塚質店 京城明治町二丁目 電話一八四九 戰慄すべき火災の防備に完全なる多額の融通

目ニ見ヘテズンズントキクシマズイタマヌ 井上博士ノ ロート目藥
目を拭くため消毒した布と新案の點眼器を添へてある◉全國各藥店にあり
本舖 東京…大阪…山田安民藥房

お化粧問答

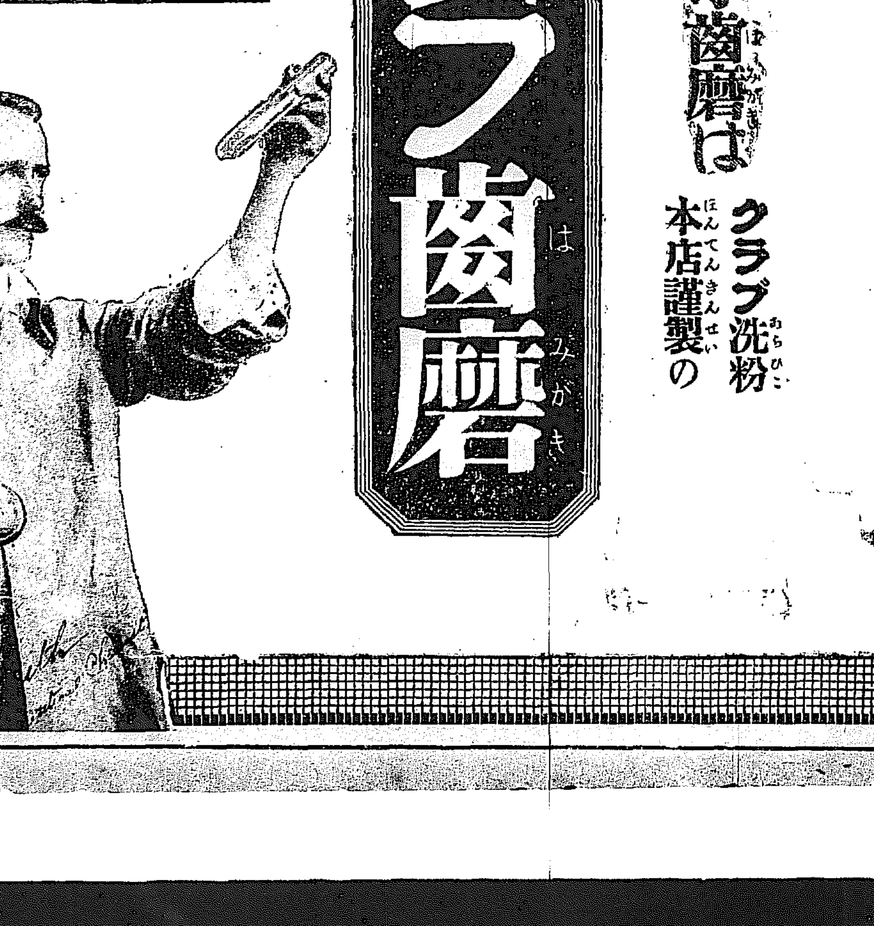
問 一番手早く出來るお化粧法をお敎へ下さいませ。(靜岡、友子)

答 お化粧をなさるには、其前に生地を整へるため、手水をお使ひになるのが普通ですが、其の時間もないと云ふ大急ぎの場合には、近頃發見されて大好評を博して居ります、中山化學工業所新發賣の化粧用過酸化水素水を脫脂綿に含ませ、之でお顏をお拭きになりますると、肌の垢も、脂肪も面白いやうに取れまして、而もお顏の色は不思議に白くなる効果を持つて居ります。(但し此際眉毛や睫毛や髮の毛に過酸化水素水が附かぬ様御注意なさらねばなりません)次に一番よくきくアレ止め兼用の化粧下クラブ美身クリームの少量を其の上にムラなくよく擦込み、其の上をハンカチかタオルで輕くおさへ、それから淸楚な、高尙な艶彩を現すクラブ水白粉で平常のやうにお化粧をなさいますれば、僅か二三分で立派なお化粧が出來上ります。

一番効力の確かなお歯磨は
クラブ歯磨
クラブ洗粉 本店謹製の

學理上 實驗上
効力五倍以上

最新最良のクラブ齒磨は英人技師並に日本技師協力の下に之を擔任謹製せるものにして齒と口中の衛生上比類なき有効原料を用ひ防腐、消炎、殺菌の力に高める貴重藥品を配合し普通の齒磨に比較すれば優に五倍以上の効果あり殊に使用後も永く爽快を感じ何人も一度使用せらるれば優良齒磨の眞價を自然に知るを得べし近來醫學者間に於ても理想の齒磨としてクラブのみ推奨されつゝあり



スワン萬年ペン
宮內省御用品の眞價は既に社會に定評あり近來稍々類似したる類似詐僞品も多し本品の舗部には SWAN の英字刻印押捺せり
到所の文具店に目下競爭販賣中買人の便な時最寄販賣店に乞ふ 御用命目錄無代進呈 大阪東區平野町一丁目 スワン大阪出張所

京城(壽座隣) 電話二一七七番
山田耳鼻咽喉科 福田齒科 醫院

宮內省御買上品
人氣益々盛んなる世界的名香水
原料香水 オリヂナル
オリヂナルの一滴は他の香水の二十滴に優る
本舖東京 安藤井筒堂

汽車 京釜線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京仁線(仁川行) 京元線(北行) 同(南行)

京城日報　第五版

本紙定價　壹部參錢　壹ヶ月七拾五錢▲郵税[illegible]▲參ヶ月前金[illegible]▲六ヶ月同[illegible]▲壹ヶ年同[illegible]▲郵券代用二割増
廣告料金　七號活字十五字詰一行八十錢▲二號活字[illegible]▲四號活字[illegible]
發行兼編輯人　奥田直
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯用[illegible]　營業用[illegible]　振替京城三〇〇番

[illegible]充分ならざるもの、品質及び色澤[illegible]に於て凍、鰹蟲喰多きもの、原料不良製造粗雜なるもの、色澤著るし[illegible]こし脈搾して針金又は帶金を以て緊縛しツック包みこしたるもの

▲開乾蝦　乾燥充分にして硬固ならざるもの

▲細入骨扱蝦　乾燥不充分にして變質の痕あるもの、品質色澤優良ならざるもの、用塩は外國塩若く[illegible]寸巾五寸六分深さ五寸箱の大きさは長さ二尺七寸巾一尺一寸四分深さ八寸二分ならざるもの

▲害蟲驅除に關する件　（一）ストを要す[illegible]む仕向先[illegible]組合に[illegible]（三）燻蒸後十五日以上を經過した[illegible]船積せざる場合は更に船積前燻蒸を要す

[illegible]し居るの風あり資金の流動も沈滯の氣味あり中農以下の提携資金昨春來の好況は例年の如く書田貸[illegible]に比し著しき減退を示せり今本減收に[illegible]其半額にも達せず頗る不振なり[illegible]年一月以降五月迄[illegible]萬七千圓合計八百二十五萬五千圓の[illegible]十四萬七百八十八圓合計五千百二十三萬五千七百二十八圓を貸せり

露國市場の將來と諸問題(十三)
對露貿易に關する諸問題(七)

[illegible]輸出を圖らんこ[illegible]手段こして露國[illegible]利用するこ共に[illegible]刊行物をも利用するの要あり特に一般的總括的のものは必ず之を用ふるを要す殊に現今に於ては商工業關係の特殊刊行物の如き著るしき發達を爲しなりこ雖も之等にありても尚且一般的記事を記載する事甚だ多きと共に二方普通新聞にありても米國等にありては當然專門雜誌に掲載せらるべき種類の廣告を見るこご尠からざるを以てなり。

▲地方新聞紙　得彼具羅士及び莫斯科に於ける各種刊行物が對露貿易を目的こする商貨の紹介者こして有効なるは上述の如し。然れごも廣き販路を有し、且つ速かに一般市場に熟知せしむるを可なりこする商貨に就ては以上の刊行物に依るの外補充的に地方新聞紙をも利用するを以て[illegible]こす。同國地方新聞紙も亦頗る發達せり即ち莫斯科に[illegible]定期刊行物二百八種[illegible]五百四十一に對しワルソウの如きは二百四、キエフ六九、リガ五九、オデッサ五八、其他チフリス、ハリコフ、カザン、バクー、エカテリノスラフ、アストラハン、トムスク、サマラ、ニヂニノブゴロド、イルクック等の如き皆十種以上四五十種を有す。斯の如き都邑に在りては中央新聞紙等は寧ろ第二位に置かるゝものにして、之れ蓋し其地露都若くは莫斯科を隔たる事遠く新聞の到達するには少くこも一週日を經ざる可らざるに由る。例へば高架索のバクーの如きは莫斯科より千五百七十六哩、彼得具羅士より千九百七十五哩を隔たり、西伯利のイルクックの如きは莫斯科より三千二百九十哩、彼得具羅士より三千五百三十五哩を隔たるが如き其他中央を去る事斯の如く遠からざるの地こ雖も各地固有の立派なる新聞紙を有するが故に中央の新聞紙は比較的其分布少きなり。さればこそキエフの如き人口六十萬を有する都會にして莫斯科を隔たる僅々五百哩に過ぎざるに拘らず、同地刊行のキエフ、スカヤ、ミースル紙の如き日々三十萬部を發行する所以にして特に今日に於ては其記事特報悉く中央のものこ劣る所なきが故に中央の新聞紙も十分其販路を浸蝕し得ざるなり。[illegible]に於けるユーニークレオロ紙の如き、サラトフに於けるサラトフスキー、ウエストニック紙の如き亦之と同じ。露國の國土は之を分轄して州及び縣こなす。歐露に於ては五十州、ウイスツラ地方に於ては十州(露領波蘭)高架索に於ては十四の州縣、西伯利に於てに十の州縣、芬蘭に於ては八州、中央亞細亞に於ては九縣に分る。

▲對露廣告こ米露商議援助　米國商社にして對露廣告手段こして其中央並に地方の經濟新聞紙を利用せんこ欲せば其餘地極めて宏きものあり。本會議所は會員の請求に應じ之が方法手段に關しても亦特に其便宜を顧慮し最も適當なる刊行物を調査報告すべく、加之其獨特の方法に依り會員の爲に廣告料金の割引を十分ならしむる樣取計らふべし。

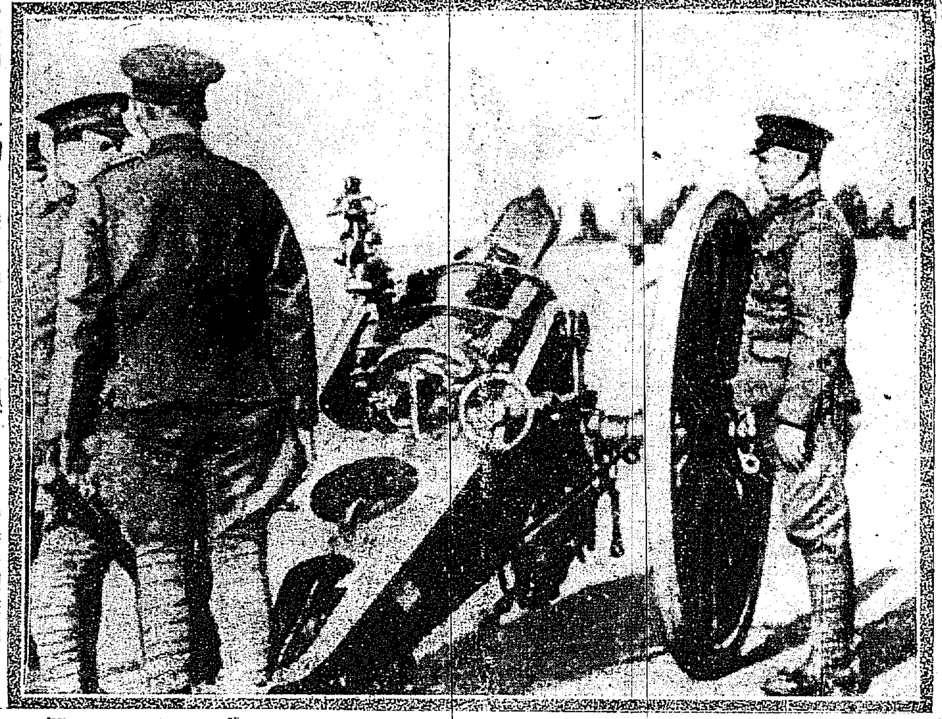
上掲彼得具羅士及び莫斯科日刊新聞の廣告料は最近の調査に係るが故に勿論戰爭に依れる影響、變動をも之を算定に加へたるものなり其他特殊刊行物の欄に掲げし料金は或は戰前のものもあり、或は開戰後一年後のものをも含めるが其後に於て料金は一段に三割乃至四割の騰躍を見たるも、今日盧貨の下落甚だしく其換算率は以前五十一仙なりしものも三十二仙こなれる割合なれば恰も約四割の割引を受くるこ異らざるべく、而して此外に本會は又特別割引を取計ふべきものこす。惟ふに米國が對露貿易を畫策し必要なる關係施設を組織せんこ欲せば今日の時局こそ其絕好機會なれ。而して若し我商業家にして對露國市場直接取引を試みんこせば、概して露國新聞紙を廣告に利用するを要するは前掲の如く而も這は又今日に於て直に之を開始せざる可らず。啻に廣告このみ言はんや、萬事總て來るべき平和克復期に對應すべく豫め備ふる所なかる可らざる也(完)

特殊鋼の發展
將來も相當有望

△需要の增加　特種鋼こ稱せらるゝハイスピードスチール、カーボンスチール等の製造は戰爭前に在りては殆ご見る可きものなく只八幡製鐵所及び海軍工廠等にて或程度の生産を見たる以外民間に於ては所々に小規模の試驗的工場ありたるも未だ完全の製品を出すに至れるもの殆ご無かりき而して之れが供給は重に英國獨逸等に仰ぎつゝありしが一朝開戰こ共に同地方よりの輸入全然杜絕の形こなり遂に供給の途を失ふに至れり然るに一方其需要は第一兵器の製造に或る程度まで缺くべからざる必要あるこ共に又時局以來一般事業界繁忙こなり多く海外よりの輸入難に遭遇して自然内地の製作に依賴せざる可らざるの結果こなれる爲勢ひ工具鋼こして各特種鋼の需要は非常の勢ひを以て激增するに至れり——

△製鋼業勃興　茲に於てか遂に需要の平衡を失し市價も著しき騰貴を告ぐるを以て既に戰前より之が研究に著手しつゝありし人々に好機逸す可からずこなし規模を擴張し或に會社を新設して愈々之が生産に從事する事こなたり即ち其重なるものは日本特種鋼會社、藤田組の廣田製鋼所、土橋製鋼所、電氣製鋼所、日本電氣製鐵會社等にして其他小規模のもの若くば研究中のもの亦尠からず而して技術の點に至つては尚相當進步の餘地を存するもの、如く即ち時こしては甚だ良質のものを出だし得るも品質常に一定せず從つて未だ其安定を得たるものこ云ふ可からず併しながら兎に角右の如き或る程度迄の發達を見るに至れる結果今や激增せる內地需要は相當之を緩和し得るに至れるは明かなり

△特殊鋼の將來　而して我製鐵業の將來に關する問題こして特に是等特殊鋼に力を用ゐるの必要ある所以のものは元來本邦內に於る鐵鑛山は概して其鑛量甚だ尠く爲に戰前に在りては是等內地鐵石に依り製鐵業を營む者は兎角大規模の製鐵業者に壓倒さるゝの有樣なりしが之は規模小なる爲め自然生産費割合多く到底其競爭に堪へざる爲めにて要するに用途の同一なるもの、生産に從事する事より起る現象なるを以て斯かる小鐵業者は將來の計こしては生産費割合に嵩むも其生產品比較的高價にして經濟的存立の餘地多き特種鋼の製造に從事するの方針に出づる事最も當を得たるの處置こ云ふ可し殊に戰爭以來鐵市場の暴騰にて山陰山陽方面の小規鐵業者は利益の增加こ共に從來の舊式精鍊法を漸次電氣精鐵法に改むるの傾向あり漸く特種銑鐵特種鋼の製造に接近しつゝあるを以て若し當業者が該方面に著目し力を用ふるに於ては將來相當發展の餘地あるべし



◇西部戰線に出動すべく英國にて演習中の加奈陀兵使用射擊砲

滿洲里の戰死

最近滿洲里セミヨノフ軍招募の義勇軍に參加して滿洲里に行き身體檢查の際疾病のため歸還したる某は語りて曰くセミヨノフ軍は本部を滿洲里元露國兵營內に置き戰鬪部隊は全部列車中に收容し機關車は中央にありて貨車を前後に連結し前方には大砲を据付け敵も味方も此列車を進軍せしめて或一地點に達し衝突すれば其處に始めて列車より出で線路の兩側に散開して戰鬪を開始し不利こなるや直に列車中に退却して列車を後退せしむるこ云ふ戰法を取れり六月二十七日の戰鬪は恰も義勇團の初陣こも見るべき第一回招募兵六十名許加はり滿洲里より約八十里西進せる地點にて衝突せるが敵の威力大にして遂に已なく退却する事こなり約六十里後退して滿洲里より二十里位の處に停陣したるが其際義勇團の一兵は花々しき戰死を遂げたり目下義勇團は第三回招募兵到著し合計數百名に達せるが滿洲里驛頭の列車中に籠城し居る露國人は此義勇團の到著毎に非常なる喜悅を以て迎へ恰こ神か佛に迎へる如き態度にて若本人こ見れば驅け寄りて握手を求むる有樣なるは意を強ふせり出發の際は募集者こして會計を司る者一人に對し旅費中十圓を天引せる事實暴露し不滿に堪へざりしが愈々滿洲里に到著し戰時氣分に掩はれたる光景を見ては最早義勇の二字より外念頭にあらざりき

米國造船計畫こ新市街地

◆目下進捗中の米國の造船計畫が如何に尨大、規模なるかは造船所の擴張或は新設に伴ひ其近隣に造船職工が[illegible]する新市街が續々現はるる事實に依て其一般が窺はれる ◆例へばヴァージニア州ニウポートニウースも三四箇月以前迄は人口約三萬の町であつたが造船業勃興の爲め諸方より造船職工群集し今日では其人口六七萬を算するに在れば街市街地の傍に米婚職工及び黑人職工を收容する兵營式の建物より成る市街[illegible]れたに拘はらず獨家屋不足で遂にロカルシツプビルデング會社が買收したジェームス河岸の土地に新に五百軒の家屋を建造する爲め造船局は一百五十萬弗出資した此等の家屋は目下急速普請中で竣工次第造船局監督の下に安く造船職工に貸し或は月賦で讓渡す豫定である ◆ペンシルヴァニア州ブリストルに近き所の或耕作地にも目下造船局の計畫で造船職工三千人を宿泊せしむるに足る新市街が開かれんこする[illegible]に依れば中央が公園で市街は左の如き區劃に分けらる

（一）未婚職工の兵營式宿泊所及び彼等に對する料理店ある所
（二）小家族が宿泊するに適する部屋附の家屋ある所
（三）接續して建てられた住宅ある所
（四）離ればなれに建てられた住宅ある所

猶ほ此新市街地には劇場教會學校等の設けられ大道路の兩側にて一階が販賣店で其上が總て住宅なる家屋が建てられる豫定である ◆造船職工激增の影響を受け最近米國に於て市町村の膨脹新市街地の出現或は出現中にある例は尙ほ此外にも澤山あるやうだ此一事に徵しても尨大なる米國の造船計畫が聲のみでなく着々實行されて居ることが明かである

留別龍吟社友（末松會席上限韵）　安永春雨

飛鴻勞燕雨窓間。新樹蒼茶掩海關。孤劒明朝分手去。鵑聲不隔萬重山。
學鷗曰、敍述別情、無復遺憾。

馬山客舍偶拈

風月何時弄一竿。匪來宦海幾波瀾。半生多幸安午後。今日始知雞口難。
學鷗曰、宋人佳處、

鑛物分析
松永分析所
京城太平通一ノ二二六　電話長一八二三番

最も教育的な二雜誌
幼年雜誌 コドモ
少年雜誌 良友
高島平三郎先生　八月號
一冊税共十五錢五厘　六冊税共八十四錢　二冊税共一圓六十八錢
一冊郵税共十六錢　六冊郵税共八十七錢　二冊税共一圓七十四錢
東京小石川　コドモ社　振替東京二七九六　電話小石川一六八一番

名義書換停止公告
當行定款第二十四條に依り來る七月二十一日より通常株主總會終了の日迄株式名義書換を停止候也
大正七年七月十五日
朝鮮銀行

講談雜誌
七月號
夏の女……伊東燦水
落語 辻駕籠……瞬家圓之助
落語 富士詣り……桂文樂
寺坂吉門……桃川如燕
侠客竹川森太郎……一龍齋貞玉
島鶴大阪屋花鳥……錦城齋典山
水戸黄門 子供鉢の木……田邊南龍
蛇の目坊主……正流齋南窓
宮戸川心中……酒井欣哉
長五郎の召捕……悟道軒圓玉
落語 隆盛……柳家さん馬
落語 踏臺……麗々亭柳橋
雜錄
定價金拾五錢　郵税一錢五厘
東京本町　博文館　振替東京二四〇番

◎開業御披露
謹啓　小生儀志岐組商業部在勤中は特別の御愛顧を辱ふし奉深謝候陳者昨夏歐露各地を巡歴中岳父永眠の爲め同組を辭し大連に滯在罷在候處這般有力なる商館こ特別の關係を結び左記に營業所を設け主こして軌條、機關車機械類の輸入販賣に從事一層奮勵可仕候間何卒倍舊の御愛情を以て深甚の御高庇を賜はり度奉懇願候先は乍略儀以紙上御挨拶旁々御願申上度如此に御座候　敬白
大正七年七月
京城府永樂町二丁目三四
輸出入商　Ⓢ　榮洋行　小田榮
電話長一四七番　電信略號(サ)
營業科目　一 軌條、機關車、客貨車、車輪類　鑛山、電氣、土木、建築用機械類　仲介、委託販賣、代理業

中元贈答品は
◇贈つて安心◇
◇貰つて重寶◇

東亞煙草株式會社
京城支店

◇支那出兵準備決定

支那當局者は曰く支那政府は西伯利問題に關し注意を拂ひ居れるも日本より出兵の時期に就て通告無きより單獨にては何等行動を執らず唯出兵の準備としては南方要兵の折衝多數の軍隊を動かす能はざるより取敢ず二個師團を編成し送に陣る事に決定し居れり（北京特電）

◇馮總統と出兵案

馮總統は西北國境出兵に關し駐北京諸外公使に意見を徴したるに日、英、佛、米諸公使より返電ありたるを以て右案を閣議に提出して決定す可しと（北京特電）

◇重要事項協議

十日午後三時各國公使館に於て協商國公使會議を開き重要問題につき協議せり（北京特電）

◇停戰問題中止

湖南の境界劃定停戰問題は張作霖氏の反對ありて段總理の異議あり去る六日呉佩孚氏に交渉中止方を電命せり（北京特電）

◇邊境防備議定

國務院會議にて陝西防護、四川攻撃並に邊境防備案を議定しまた湖南將軍に五十萬元電送の議を決せり（北京特電）

◇呉佩孚態度如何

呉消息通の談によれば呉佩孚氏が停戰せるは北方政府に對して大なる怨恨を有し斯る態度に出でたるに非ず勿論部下將卒が戰ひに倦み厭戰の氣激烈なるも大原因ならんも唯中央政府が張敬堯曹錕張懷芝氏等に對しては比較的彼等の要求を容れ官位軍費を供與しながら中就最も戰功ある呉佩孚氏に對し論功賞の宜しきを得ず等閑に附したる結果呉氏をして戰意を鈍からしめたる原因にして曩へ呉氏と雖も今日まで多大の功勞を立て各方面の德宗厚きを加へたる今日中央の命を全然無視するが如き愚策に出る理由なし若し呉氏にして萬一中央に裏切るが如きことあらば北方對南政策は根本的瓦解とも云ふべきが斯る事はあるべき理由なし中央も目下軍費には較成算あるを以て今後は呉氏も一層活動するに至るべしと樂觀說を述たり（門司電報）

◇軍票發行許可

段總理は張懷芝曹錕兩氏に對し前敵軍用票發行の權を許せり（北京特電）

◇經略行署組織

曹錕氏は先づ經費五十萬元を以て經略行署を組織し潘矩楹氏を其參謀長として推薦せり（北京特電）

◇土耳古軍の暴虐

土耳古軍は今や露領アルメニヤを占領せんとし同地方人民に對し殲滅の虐殺を爲しつゝあり（倫敦電報）

◇セ軍士氣昂る

セミヨノフ軍麾下義勇兵續々滿洲里に到着漸次編成の上軍司令部所在地なるマチエンスクに向け送られたるもの既に數百名に達し爲に哈爾賓にありたる同軍の士氣頓に昂り近く一大攻撃を開始す可しと（哈爾賓電）

◇ホ將軍の新命令

ホルワット將軍は十二日東清鐵道總司令官の名を以て昨年三月以降發せられたる總ての軍律、軍法及び命令を廢棄し更めて同月以前布告のものに全部復舊す可きことを命令せり（長春特電）

◇王正廷廣東行

參議院副議長王正廷氏は十六日發廣東に赴くべし（上海電報）

◇外米朝鮮移入近く實行さる

外米の朝鮮移入は愈々近く指定商を通して實行せしむる事こ成れるが運賃諸掛りの採算上一度門司に上げ更に同地より移出する事こ成る可りたり（東京特電）

◇辭令

十一日左の通辭令あり

内務技師工學博士　原田貞介
任内務技監（一等）

◎上旬氣象概況

（朝鮮總督府觀測所）

[illegible]見たる所あり而して旬半に至り高氣壓主部は北方に移動し半島に於ては頻繁に降雨を齎せり[illegible]江岸を除きては概ね百耗以上に上れり本旬の平均氣温は南部内陸の[illegible]二十三度餘より東西海岸の十八度[illegible]らざりしも之を前旬の高温氣温に比すれば孰れも二度内外の低度を示し[illegible]

平壤	二三・七	四	二二・〇	二八・九
京城	二二・八	五	二三・〇	[illegible]
仁川	二一・九	四	二一・一	二八・二
金泉	二〇・八	六	二三・六	[illegible]
木浦	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

小樽高商生見學　小樽高商生徒七十二名は十四日夜著十五日は市内見學の上十六日長春に十七日大連に向ひ同地見學の後旅順撫順視察の上二十一日安奉線にて朝鮮經由歸途に就く豫定なり（奉天特電）

◎鮮人海外發展狀況（一）

京城商業會議所の調査に係る朝鮮人の海外發展狀況を聞くに近時鮮人の經濟思想發達に伴ひ内地及び海外に發展するもの漸次增加し將來朝鮮の

▲產業開發上　資する所多大なるは悅ばしき現象なり從來鮮人の内地及び海外に居るものの多くは留學生にして其他は商業視察又は觀光の爲め旅行するもののなきに非ざりしも内地及び海外（國境を除く）に於て諸般の業務に從事する目的を以て出稼するものは稀にして僅に内地に於ては東京、大阪、福岡、廣島、山口等の地方に過ぎず、外國に於ては北滿洲及び支那本部等に少數勞働者の居住するものあるに過ぎざりしが併合後に於ては海外殊に母國との經濟交通其他諸般の關係漸次密接となり母國及び諸外國の事情次第に紹介せらるゝに至り

▲移住者增加　の傾向を生じ殊に歐州戰亂勃發以來母國及び滿洲に於ける工業の勃興に伴ひ勞力の需要頓に增加し之れが爲め益々激增するに至れり然れども鮮人の出稼たる最近の現象に非ず半島千五百萬餘の鮮人は往昔より内外各地に亘り發展したる事例あり例令ば鹿兒島の伊集院村苗代川村名古屋の鮮人村を始め日本各地に散住する鮮人部落の如き[illegible]すべき現在鮮人にして母國及び海外に移住せるものを擧ぐれば總計二十八萬二千四百三十八名にして之を國別にせば内地の一萬四千五百十四名滿洲の二十六萬二千二百六十四名

▲支那本部の　四百八十名南部亞細亞及び大洋洲の九十三名、南北亞米利加の七百五十三名、歐羅巴及び西伯利の四千三百三十四名なりとす今内地を除く諸外國を細別すれば滿洲に於て牛莊領事館管内二百五十五名安東領事館管内四千二十一名遼陽領事館管内二千十名鐵嶺領事館管内百四十二名吉林領事館管内千三百七十一名哈爾賓領事館管内九百五十名齊々哈爾領事館管内二十二名赤峰領事館管内一名間島領事館管内二十四萬一千七百二十三名支那東部及北部支那於ては

▲百九十六名　中部支那二百九十七名南部支那五名南部亞細亞及大洋洲に於ては香港三十一名、佛領印度支那八名暹羅八名、海峽殖民地及英領北ボルネオ十名比律賓群島及グアム島三十一名大洋洲五名南北亞米利加に於ては北亞米利加七百五十二名南亞米利加一名歐羅巴及び西伯利に於ては英吉利七名露都ペテログラード三百四十八名、ニコラエウスク領事館管内三千九百七十九名を算し居れり

◎國勢調査に就て（三）

工藤國勢調査課長談

次は調査の方法であるが前述の如く此の調査は戸籍を目標として行ふものではなく世帶主を標準とし之に依つて調査員が世帶票を各人に就て

▲作製する事　になるのであるが此の世帶とは一つの生活の單位……經濟の單位を以て斯く定めるものであつて一人で一世帶を爲す場合もあり一戸中に數世帶集合する事もある事になるのである其世帶を支配する者を世帶主と名附け世帶主に對し調査を行ふのである調査の項目は内地では八項乃至十項に分れて居るが朝鮮でも其の位の項目に就て調査する事になるであらう其主なるものは生年月日、姓名、男女の別、世帶主との續柄、職業及び種類、朝鮮人にあつては國語を話し得る程度等である、而して之には調査員を得る事が最も必要である調査員たるには

▲文字を知り　相當の記入を爲し得る者でなくてはならぬが之には地方の有力者或は雇員等で其土地の事情や狀態を知悉した者を充つる筈で一人の調査員の受持を五十戸とし此調査員七八人毎に一人の監査員を置き監査員は調査員の調査方法或は記入法に就て監督する者で之には有力者或は判任官巡査等を以て充つる事になる郡には郡の調査委員會を組織し其郡に於て調査員の蒐集した世帶票を纏め郡は之を道に道は更に中央に報告すると云ふ風にして成る可く役員の配置は行政區域に一致せしめ度いと思ふ旅館の如きものは

▲之は準世帶　として宿主準世帶主として調査する事になるが汽車に就ては之を止めるか什ふかの問題で尙研究中である軍艦及び船舶に就ては調査の日即ち十月一日より三日以内に朝鮮に入港する者のみに行ふ事になる旅行者に就ては猶研究中であるが通行中に調べる事は不可能であるから其の旅行者が最近に休憩するなり又は買物をするなりの爲めに這入つた家に於て調べる事に仕度いと思ふ猶此の外に特別調査區域を設ける必要がある此の區域は調査員の入る可からざる場所或は特別に調査するを便利とする所等で例せば李王職、避病院、監獄、軍隊等の如きである、目下の處調査員は

▲約八萬人を　要する見込であるが總督府では一般に國勢調査を知悉せしむる爲近く講習會を開き道府郡面に於ても調査員の訓練を行はせ場合に依ては人を派して全鮮を巡歷せしめ國勢調査の趣意を知らしめる必要があると思ふ、先づ國勢調査の豫備行爲として今年の十月一日を期し試驗的に内地人の密集地、朝鮮人の密集地港、島、僻遠の地、支那人と多くの交渉を有つ地の六個所を選定して小規模の國勢調査を行ふ計畫である、國勢調査の豫算は百餘萬圓を要求したが猶四五十萬圓を追加する心算である而して大正十二年三月三十一日の

▲年度の終り　には全部の結了を發表し度いと考へて居る以上國勢調査の大體に就て述べたが之れは前述の如く單純な事業でなく却々の大事業である然も此事業たるや的を射る樣なものであつて一度やつて失敗たら次の十年目迄は取返しは出來ぬ仕事である從つて萬全を期する爲めに準備に多大の努力を要する次第である又何何に當局が努力した處で一般が調査員に向つて出鱈目を云ふやうな事になれば目的を達せぬ事になる譯で總ての人が同心協力國勢調査の意味を理解して盡力して欲しいのである（完）

◎水産國としての日本

夙に英米と共に世界の三大水産國と併稱せられ年產額約一億三千萬圓の漁獲を收めつゝあり十數年以前の本邦近海には露國の捕鯨船若くば米國の膃肭獸捕獲船の僅に出沒するに過ぎざりしも今は是等は全く驅逐せられ其後影だに認めず本邦漁業者は却つて支那朝鮮南洋は勿論遠くオコック海並に露領沿海洲等に渡り更に加奈陀のフレザー河及び北米西海岸に迄出漁して我漁民皆冒險的に遠海に航行し孰れも相當の効果を擧げ一億二三千萬圓の國富を增進しつゝあるは又盛んなりといふべし

大阪より

▲各港貿易狀態　我國に於ける開港場所の開港地がある貿易上の變遷の跡を顧みれば我が國の進步發展程度が如何に長足の發達を遂げたかが判明する即ち明治十年には輸出入は僅に五千九十四萬圓に過ぎなかつたが十年後の明治二十年には一億四百十餘萬圓同三十年には四億五千萬圓同三十九年には九億千二百餘萬圓となり最近には二十億圓を突破したのである

▲三百萬圓以上　近時經濟界の變遷推移に伴ふて各貿易港の趨勢も亦之に伴ふて盛衰は免れない今大藏省關稅課の調査による本年の一月以降四月末日迄に於て出入額三百萬圓以上の取扱ひを爲した諸港は左記の通りである

▲輸出之部

橫濱	二億三千八十八萬五千圓
神戸	一億六千三百四十一萬四千圓
大阪	一億八百七十一萬九千圓
門司	千四百三十八萬九千圓
長崎	七百六十七萬四千圓
名古屋	六百〇七萬八千圓
小樽	三百九十八萬圓
三池	三百五十五萬一千圓
若松	三百二十萬圓

▲輸入之部

神戸	二億八千五百三十七萬五千圓
橫濱	一億五千十一萬三千圓
大阪	四千四百二十二萬九千圓
四日市	二千百〇五萬圓
門司	二千〇七萬三千圓
長崎	九百四十一萬三千圓
武豐	四百二十五萬九千圓
下關	三百五十三萬千圓

以上の通りであるが玆に最も注意す可きは本邦五港の一にして日本海に於ける唯一の貿易港として許されたる新潟港と同じく北海道の函館港の運命である兩港共に三池、若松、武豐等の新開港地の遂に末位にあるは港灣其のものの不備よりも寧ろ地の利に於て劣者の地位にあるからである新潟港の如きは輸出は四十二萬五千圓輸入は僅々二萬六千圓と云ふ憐れな狀態にあるのである之に反して大阪は昔より商業の中心地として有名であるが貿易地としては所謂五港の如く早くより指定されてなかつたから近接の神戸港を經由せなければならなかつたのである其後開港地と指定されてからは地の利に於て將商業地として素地があるから長足の進步をして今では我が國第三位の貿易港として將來多々益々發展せんとして居る五港の内でも橫濱神戸の兩港は流石に其の首位を失はないが德川時代に唯一の開港地なる長崎も昔日に比して大ひに退色があるのは蓋し榮枯盛衰の免れない運命である之に反して門司、名古屋、四日市、若松、三池、小樽の諸港は何れも盛況を呈し將來共に[illegible]の形勢を失はないであらう敦賀港が大正六年には露國貿易の殷盛と共に數千萬圓の輸出入を見たが革命勃發以來は頓に下火となりて本年の如き三百萬圓にも達せないと云ふ悲慘なもので開港は蓋し時局の影響を受けて急激なる變調を呈したるは蓋し開港以て第一とするであらう斯くて兩國貿易額は年々增加しながら各港によつて其の盛衰の跡の著しきを見るべきものがあると共に開港地を中心とせる商況狀態の一斑をも推知することが出來るのである（大阪支局）

◇獨攻勢遲延原因

長期の軍事會議の關係か

獨軍の攻勢遲延は多大の揣摩臆測を惹起せしめつゝあり或向にては其の原因を以て兵員の不足とインフルエンザの流行にありとし居れりされど巴里に於ては其原因を政治上の理由にありとし右は獨帝、宰相、ヒンデンブルグ・ルーデンドルフ將軍等が若干日間に亘りて行ひつゝある長期の軍事會議に關係あらんと信じ居れり（倫敦電報）

◇獨社會黨の反對

アムステルダム來電＝獨逸帝國議會にて社會黨領袖シャイデマン氏は獨逸社會黨は平和に對する政府の態度に反對なるため軍事豫算に對し否決す可き旨聲明せり（倫敦電報）

◎韓相龍氏有松長官招待　漢城銀行專務韓相龍氏は十四日夜來京中の有松法制局長官一行及び在京の名士十數氏を自宅に招待張宴せり

人事往來

▲有松法制局長官一行　十五日午前八時四十分發にて南行
▲江口[illegible]氏（[illegible]郡守）　十四日夜入京　原金旅館へ
▲中諸民之助氏（金川[illegible]農場支配人）　同上
▲管田穀作氏（[illegible]稅支署長）　同上　酒尾旅館へ
▲石原新義州府尹　十四日夜歸京

◎閑百種

支那から歐洲戰場に輸出した勞働者は却々大したものであるが▲契約期間は二箇年で住宅食料は向ふ持で被服までも支給されて一箇月二十圓丈けは本國の家族に送り十圓丈けは本人に渡す事になつて居る相な▲處が其處は支那人であるから本人に渡された十圓までも全部本國へ送金して終ふ▲元來十圓丈け本人に渡すと云ふのは畢竟佛蘭西で儲けた金は佛蘭西で費はすと云ふ政府の政策であつたが外れて了つた▲其の目算が外れて佛政府も驚いたとの事支那人の貯蓄力の強いのは實際世界無比▲思ひ出した樣に動き出した淺間山麓一帶は自然地價を騷がす[illegible]も安い▲處が此の火山は短命だと聞いた某成金は短命なら活動も始めるのだらう其うすれば今が安い地所を買占めるに若はないと▲奇妙な處へ目を付けて先づ大森地震博士の許に駈付け相談を持ち込んだ▲如何にも短命だと聞くと[illegible]喜び『其れでは來年位に出ませうか其とも五年十年』▲博士却々首を縱に振らずせき込む成金を[illegible]やかに眺めつゝ▲『マア三百年でせう』と突つ放したので流行の成金君もギヤフン▲此頃鐵道自殺者にも種々毛色の變つたのが出來たとか▲名古屋附近で百姓の娘を捕へて私は次の汽車で死ぬからお寺に届けて呉れと云つて小包を差し出した者がある▲娘が[illegible]だと思つて笑つて居たら果して次の汽車で轢死して居た▲其から大垣附近の踏切番に私は事情があつて是非右の手を切らねばならぬ決して死ぬのではないから汽車の通る時線路へ入れて吳れと頼んだ者があつた▲踏切番は一も二もなく其不心得を戒めて斷つた▲處が次の汽車が通つた後最前の者は迷惑だから他の場所で切つたと繃帶で卷いた血の滴る右の手を突き出した相な

◎濟南近信

▲山東省收支　山東省從來の收支豫算は[illegible]れる▲[illegible]は政費節減と俸給削減[illegible]結果種々の醜態を演出するならんと危まれつゝあり▲張代督[illegible]此迄減少されたる傾きあり[illegible]する事となり全く名を得て實力を[illegible]

◎中央線

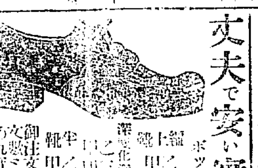
列車[illegible]

法人登記公告　[illegible]　京城地方法院利川出張所

金甲淳

丈夫で安い實用靴　ボックス革製　[illegible]　東京牛込箪笥町六〇　ツブク靴店

購買遞信局



晒小幅木綿　黒地小幅木綿　白地小倉（洋服地）　黒地小倉（洋服地）　新亭各種　晒リンネット　新亭、漢陽亭原糸　支那人足袋類　御用命被下度候　京城府並木町二七六番地　株式會社京城織紐會社　電話一一八八番　振替京城四〇七番

確實なる貴金屬は信用ある弊店にて求められよ

村木時計舖京城支店　本町二丁目　長電四七一　振替京三一九〇

京日案內　普通一回前金（[illegible]名一回分）五拾錢　番外壹圓前金（[illegible]）

◎賣宅地　市内老人亭下貳七貳坪　[illegible]　若森
◎住宅買受たし　建坪十坪内外空地ある處午後六時後來談ありたし（姓名在社）
店員入用　廿一歲以上市内保證人要　本町　ウツボヤ書店・電二五二七
看護婦及見習數名至急募集す　姓名　仁川支局
金融　月收の御方に簡易極秘信用貸御報伺上又は御來談　京城本町五丁目電車終點　大和屋質店
◎融通　月收の御方へ極秘迅速簡易　大和町三の三二（桐澤前）起木屋
◎女中至急入用　希望者は來談ありたし　京城本町一丁目　大阪屋號書店
◎乳母至急入用　支那領事館前　飯塚（電一一四〇）
かし土藏　新築五坪二ヶ所あり御入用の御方は（電話二三一番）又は旭町一ノ一中村方へ御申込被下度
記帳係　一名入用希望の者は履歷書携帶本人來談あれ但し市内に確實なる要保證人　京城南大門通三丁目　松原事務商店
◎牛乳代用　◎玄米精乳　京城模造品御注意　北米倉町電話一五四七　玄米製乳舍
鑛物定量分析　坂元分析所　本町二丁目　電長二三四四
恩給年金　長期低利立替　吉田屋
年金恩給　低利長期　江州屋本店
恩給立替　西村商會
◎左官用布海苔　山本爲次郎商店

第六十九回　二千圓くじ初回より三回まで　四十八本　興味ある運だめし　▲即賣　▲特約賣　新債券　新濟崩賣　福岡市博多下呉服町（本店日本勸業銀行構内）株式會社勸業債券月報社　福岡支店　電話一五四五番・振替福岡九五五〇番

氣持のよいペンの走り　メリット萬年筆（定價貳圓五拾錢以上）　思はず知らず事務の捗取る　アームス萬年筆（定價壹圓五拾錢以上）　東京神田　サムライ商會　濟南地方に限り此際特に割引す　全國到る處の文房具店にあり

内科　胃腸病　診察夜九時迄　石川醫院　電話一二七二・二三九〇番

賣捌所　太平通京城日報社代理部　電話長六〇〇九番　振替京城三〇〇〇番

縮刷　朝鮮法規提要　朝鮮法制研究會
（内容）憲法、法例　官規　賞恤、恩給　文書附印鑑　地方行政　社寺、宗教　兵事　教育　衞生、警察　財務　土地、林野、河川　法務　産業　交通、電氣
▲ポケット形一千餘頁　▲總クロース函入美本　▲定價二圓二十錢　▲特價一圓八十錢

瓦斯管　合資會社南方商店　京城南大門通一丁目

値段表見本帳無代進呈

東京六櫻社製　石版インキ各種
東京求林堂製　石版活版インキ各種
東京櫻井製　名刺カード各種
朝鮮一手特約店　京城府南大門通り一丁目　堀井謄寫堂京城出張所　電話長四〇二番　振替京城一〇五八番

…部的降雨を催し間々豪雨を…半島を通過せるものありて全鮮一百耗以上に達したるが其他も暫時に於ては三十一度を超過せる所紗か

◎四分間で沈沒

—河内艦爆沈公報—

中央部爆發四分の後沈沒せり

七月十三日午前十一時四十五分東京發至急報十四日午後三時五十分著

十二日午前十一時半海軍省發表＝十二日午後三時五十七分軍艦河内德山沖にて中央部に爆發を起し約四分の後爆沈せり生存者艦長副長候補生以上二十三名下士卒約四百名也。

▽總督府著公報

軍艦河内は德山灣停泊中十二日午後三時五十七分中央部爆發を起し四分の後沈沒せり 原因取調中なるが只今迄判明せる生存者は艦長副長候補生以上二十三名、特務士官二名、准士官十一名、下士卒四百名なり。

▽河内の首腦部

河内艦長以下職員録に依りて判明せる同艦の首腦左の如し

艦長　海軍大佐　正木義太
副艦長　海軍中佐　吉富新八
機關長　海軍機關中佐　飯島清
軍醫長　海軍々醫中監　中村喜久太郎
主計長　海軍主計少監　伊藤寬哉

▽引揚は案外容易か

再び其雄姿に接するを得ん 爆沈の原因は疑問である

平壤鑛業所長　水谷少將談

平壤鑛業所長水谷千髙吉少將は軍艦河内の爆沈に關し語て曰く私は久しく陸上に勤務し海上との交渉を絶つて居る爲め河内艦長の名前も知らぬ位である夫で確たる事は申上げられぬが同艦は明治四十三年横須賀工廠で進水式を擧げ長さ五百二十六呎幅八十四呎吃水二十七呎大砲

■十二吋　十二門六吋十門四、七吋八門三吋十門水雷發射管七門を有する超弩級艦である同艦が德山に入港した理由は德山には海軍煉炭貯藏所がある爲め多分之を積取る爲めであらうと想像される從來德山の煉炭は

■一旦呉　に廻送し軍艦は呉で積取ることになつて居たが近來は船腹不足の結果軍艦自身德山へ廻航して積取ることになつてゐるこの頃は恰度海軍の演習季節に當り軍艦では非常に燃料を要する時であるから河内もその補給を受ける爲めに寄港したものに違ひない唯爆沈したと云ふだけでは

■原因を　知るに苦しむが彼の筑波艦の爆沈以來海軍では火藥に對して一層の注意を拂ひ温度瓦斯の關係に特別の研究を積み嚴重に警戒を怠らぬから今回の爆沈は火藥庫の爆發とも思はれぬ今日のやうな重大な時局に際し河内の如き精鋭と幾多の勇士を喪つた事は邦家の爲め誠に痛惜に堪へぬが然し德山近海は

■水深が　頗る淺いから引揚作業は差して困難に非ざるべく破損の程度如何に依つては修理して再び使用することが出來るであらう（特派員電話）

▽國家の一大損失

四分間の沈沒は未曾有の事

軍艦は又出來るにしても取返しの出來ぬのは人命

軍艦河内は横須賀で進水した超弩級艦であるが我國で超弩級艦を建造したのはこの河内が嚆矢なので進水式當日は畏多くも

■陛下が　特に御臨幸になつた位である河内の總工費は確かに二千萬圓だつたと思ふが物價騰貴の甚だしいこの節では最う二千萬圓や其邊では到底この位の軍艦は出來ない歐洲戰の貴い教訓に鑑み世界海軍の趨勢は漸々として巨艦主義に傾き我國では遲れ馳せながら

■超弩級　から超々弩級へと造艦方針を進め今後益々巨艦を建造せんとする折柄河内の如き有力なる軍艦の沈沒は國家の爲め非常なる損失と云はねばならぬ然し夫も好し經濟上の損失は又何時かは取戻せることがあるから諦めも出來るとして

■痛惜に　堪へぬのは艦と運命を共にした幾多忠勇義烈の將卒の身の上で之許りは何千萬圓にも何億圓にも換られぬ大損失と言はねばならぬ艦長の正木義太大佐は日露戰爭の時第一回第二回の旅順閉塞に參加し『片腕大尉』として勇名を謳はれた人斯る勇士を殺さなかつたと云ふことは不幸中まだしもの幸ひであらう、爆沈の原因は

■獨探の　仕業ではないかとは時節柄尤も千萬な質問であるが從來とても重油タンクから自然發火した例は幾らもあるから之は何とも云へない然し軍艦が僅々四分で沈沒するなぞと云ふ事は殆んど例のないことで珍らしいのみならず夫だけ慘状の甚だしいものがあつたらうと思はれる（某海軍通談）

▽當年の片腕大尉

青島戰には重砲隊長として參加　正木義太艦長

河内艦長正木義太大佐は明治二十三年の兵學校出身で本年四十七か八である日露戰爭には海軍大尉として出征し旅順閉塞の際には二回共參加した第一回は武陽丸に乘組み第二回は米山丸に乘組んだのであるが、此の第二回の閉塞の時佐は右肩に

■砲彈を　受けたけれども屈せず更に勇を鼓して船を進め敵の一驅逐艦の艦尾を衝いて港口水道の中央迄來ると敵の魚形水雷を受けて沈沒したので部下と共に始て端艇に乘移り根據地へ引揚げた其際大佐は

■重傷者　島田中尉を抱いて端艇に下り己の膝を枕にして中尉を横臥せしめ負傷せる右手に舵を取りつゝ十字砲火の下を巧に切拔けたのは有名な話で其勇敢沈着なる行動には誰一人として舌を捲かぬ者はなかつた大佐になつたのは大正三年であるが其翌年の日獨戰爭には重砲兵隊長として參加し陸軍と相俟て

■青島の　背面を嚇かし非常なる勳功を樹て、彌が上にも武名を謳かした今回の椿事では六百名からの行方不明者を出したと云ふが斯る勇士が不思議にも助かつたと云ふことは我海軍に取つて切てもの慰めと言はねばならぬ（某記者談）

不思議に助かつた　正木河内艦長

◎オールドボイズ庭球大會

—若返つた人々の顔よ—

京城オールドボイズ庭球大會は十四日午前明治町三井物産コートで開催された集まる者三十二名日頃お役所や會社では隨分嚴しい顔で取澄ましてゐる面々もサテは病院で仔細らしく首を捻る先生方迄今日は一個のオールドボイ

▼位記勳等　やペンや乃至メスの閃きもスッカリ忘れて中には鬚七胡麻三分位の頭を振り立て、それでも昔とつた杵柄、ロッビングの上手い後衛、スマッシングを得意とする前衛、あの人がへーと首を捻つて感心する觀衆、など領事館の深緑涼しい蔭の下では

▼若返つた　人々の顔に歡喜の愉快な一日を過ごした終つて在京各俱樂部選手の仕合があつて午後四時過散會した猶オールドボイズの仕合結果は別項の如くである

—（寫眞は仕合に狂喜しつゝある所謂オールドボイズ手前より人見鐵道局長、村田鐵務課長、高野三井店長、一の瀬南大門驛長等）

▽大混雜の德山港

港外には河内の大椿事あり

◇市内は停滯の旅客を寺院にまで收容して

博愛丸山田事務長談　釜山にて

十四日夕刊既報の如く博愛丸は十二日午後三時二十分德山灣入港四時終了せしより引續き從客の收容を爲したるが旅客の停滯にて著しく鐵道院にては寺院を借り受け旅客を收容せる狀態にて投錨後三十七分にて河内艦爆沈の大椿事突發し大混雜折柄怒濤激しく翌十三日午前十二時半に至り漸く風波凪ぎたるを以て本船も乘客の陸揚を開始し午前混雜を爲し居れり本船は午前十時積込を了して下關へ向ひたるものなり（釜山特電）

◎皮肉な脅迫狀

—鴨江岸輯安縣地方馬賊猖獗—

◇支那警官財産を鮮地に運ぶ

『明日往訪すべし歡待せらるべし』

既報鴨綠江上流對岸黃柏甸子を襲撃せし優勢なる馬賊團は去月二十六日深更再び平北滿浦鎭對岸輯安縣養毛甸子附近に出現し同地の富豪數名に對し『明日往訪すべし歡待せらるべし』と皮肉なる意味の

▼脅迫狀　を送致し翌二十七日午前五時頃果して一豪商を襲撃せしが該豪商は多數の支那人を傭ひ入れ此に銃器を附與し極力防戰に努めたるも賊勢猛烈なりし爲め二名の死者と四名の重傷者を出せる外七名の支那人を

▼人質と　して拉去せられたる由なるが尚賊團は之にも飽足らず引揚けの途巡警の逃匿せる同地巡警局並に附近の民家を燒拂ひ更に翌二十八日三里上流なる林皮溝に殺到し某富豪宅に闖入多額の金品を強奪せる上飼々敷くも酒食の接待を命じ悠々飮酒の上

▼根據地　に引揚たると叙上の如く平北上流對岸一帶の狀勢斯くの如くなるを以て民心の動搖甚だしく各々其の堵に安んぜざる風あり然も其後平北慈城江口に六十名、江界三興洞に約百名の避難者渡來せる爲め我官憲は極力之を保護中なるが黃柏甸子水上警察長の如きは

▼財産の　全部を平北道内に搬入隱匿せり尚又滿浦鎭對岸支那巡警にして武裝せるまゝ對岸鮮地に逃込み來るものありしも我が官憲に依り上陸を拒絶せられ泣く如く立戻りし等種々なる悲喜劇を演じ居れり因に前記人質として拉去せられし支那人中六名は石坂溝に於て放還されたりと後報ありたり（新義州）

◎電車の中で大立廻り

京城中林洞居住李昌宰（三）は十三日夜九時頃泥醉して電車に乘り込み南大門通り一丁目を進行中車内の乘客に唾を吐きかけしより車掌が制止せしに食つて蒐り多數の乘客を相手に大立廻りを演ずるより黄金町一丁目停留場にて車掌が引摺り降ろして派出所に引渡したるに詰合ひの警官に暴行するより更に本町警察署に引致せしに益々暴狂ひ手が附けられざるより留置場に叩き込まる

◎山陽線の開通

水害の爲め不通と爲り居たる山陽線は十四日上り下關發午前八時五十分下り、午後二時二十分下關着列車より開通せり（門司特電）

◎平壤のお伽講演

目下西鮮方面巡回お伽講演中の本社龍山源光氏は十四日鎭南浦に向ひ十五日同地の講演を終へて同午後三時四十分平壤に引還し十六日午前九時平壤幼稚園同十時半同尋常小學校同午後一時同高等女學校に於てお伽講演を爲し同夜八時より同市大和町龍頭寺に於て講演すべし（平壤電話）

◎竊盜詐欺豪遊

長崎縣原町生れ前科二犯住所不定小田[illegible]太郎（三五）は五月十七日上京し京城若草町の宿屋中原方に滯在し宿料七圓を踏倒して逃亡し六月十六日には南米倉町の松尾某に對し鐵道員として就職したるが其の準備金に貸し與れと十六圓を騙取し翌日新町遊廓某樓にて遊興費九圓を不拂ひにて姿を晦まし次は青葉町二丁目園田某方に至り同家の川島某所有の衣類及び小切手二枚を窃取し其の小切手を僞造行使して同町の雜貨商横山より十圓第一銀行京城支店より三十圓を詐取し得たる金にて豪遊中を龍山憲兵分隊に逮捕され京城地方法院檢事局に送らる

◎小學生の家出

行方不明となる

清涼里附近某方に寄寓し京城東大門尋常小學校に通學中なる六年生萩官三郎（三）は本月八日朝七時頃例の如く登校途中にて出奔し其行方不明となりしが目下搜索中なるが同人は平素自殺する等と口吻を洩し居たりと

◎鮮人の鎌腹

生命別條なし

大正の今日殊に朝鮮の田舍で切腹した奴（二）と云ふ朝鮮の踊作が出來た所は平壤より程遠からぬ大同郡金祭面鳥祭里に在る、此人の自宅に於て十一日午前七時半頃麥刈用の鎌を以て見事割腹したと言ひたかつたが之を見て居た人が驚き是亦死を力任せに擱んで見たが切れず苦悶してる所を家人に發見されて大騷ぎとなり此筋へ急報すると共に一通りの手當を施したが生命には別條ないとのこと原因は他人と口論せしが逆上より叱られて此の無分別に及んだものであるといふ（平壤）

◎仁川音樂講演會

仁川教育俱樂部並に基督教青年會主催の下に目下京城滯在中なる音樂家青木兒氏を聘し十六日午後八時より仁川基督教青年會館に於て音樂講演會を開催すべく一般の來聽隨意なりと

運動界

▼老童仕合成績　十四日三井庭球コートに於ける老童庭球試合スコアー左の如し

紅		白（○印勝）
○山元（京電）平岡（一銀）	…	成田（高女）和田（遞信局）
○山元（京電）平岡（一銀）	…	豐田（商銀）安川（東拓）
○飯泉（鮮銀）入見（總督府）	…	高野（三井）吉田（鮮銀）
飯泉（鮮銀）入見（總督府）	…	○小山（中試）石（遞信）
木村（鮮銀）本宿（遞信）	…	○小山（中試）石（遞信）
奥澤（東亞）關屋（總督府）	…	○小林（[illegible]）村田（總督府）
○矢部（東亞）池田（商銀）	…	小林（[illegible]）村田（總督府）
○矢部（東亞）池田（商銀）	…	衣笠（醫師團）松原（鮮銀）
○渡邊（高普）高木（京中）	…	谷川（[illegible]）武能（京中）
○渡邊（高普）高木（京中）	…	横地（高普）佐藤（醫師團）
○井上（鮮銀）加谷（一銀）	…	一宮（醫師團）讃井（鮮銀）

▼野球遠征團　安東縣鐵道野球團は過日平壤野球軍に對し遠征仕合を申來りしより曩に龍山軍に破れたる平壤軍は過日の恥を雪がんと愈々來る二十一日を期し仕合承諾の旨回答し昨今猛烈に練習を開始せりと（平壤）

蠅退治（ST式固形石油乳劑）

ハイのウジとタマゴを殺し根を絶つて藥を枯らす根本的蠅の驅除劑

壹打　定價二拾八錢　郵税四錢

總發賣元　熊平支店　電話長六二四番・三壹一五番　振替京城二三二番

大阪賣元　京城日報代理部　電話構内十八番　振替京城三〇〇番

子供の好む御伽噺

もう妖怪や繼子苛めや森の王子の武勇譚では子供が滿足しない

時代は既に變つて居る子供も今は科學的の讀物を要求して居る

玄文社で新刊した御伽科學

▲子供を教育するには　子供に同情しなければならぬ子供に同情するには先づ子供の心にならねばならぬ然るに今日の子供の心は我々子供の時の心とは全く變つて居る我々は自分で決して時勢に遲れて居るとは思はないが如何せん我々が育つた時と今とでは周圍が違つて居る從つて我々が自分の子供時代を回想して彼の時分は斯樣だつたから今の子供も斯樣だらうと思つて何かして

▲子供の讀物　に就ても同樣で遣は自分が子供の時讀んで面白かつたからと云ふのでイソップとかグリムとかアンデルゼンとかいふものを讀ませやうとするも今日の子供は之に興味を持たない所在に飛行機あり潛航艇あり煙突の煙と機關の響きの間に育てられつゝある現代の子供は最早單なる妖怪譚や武勇譚位で滿足して居る事は出來ない、彼等の要求して居るのはモット科學的な讀み物である自分等の周圍に密接なる關係を有し現代に生きて居る者が常に抱いて居る空想を滿足せしめ得るものである即ち

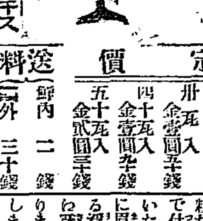
▲子供と科學　と云ふ事は最早離るべからざるものになつて居る今度玄文社で出版した御伽科學は此要求に應ずべく特に作られた…

▲太郎がお近付になつた動物　太郎と云ふ少年が森へ迷ひ込んだ…を紹介したり一所に生活したりした其動物の話を聽いたり面白く說明して居る其の記錄が即ち此の本である現代の子供が知らんとして居る讀物として恐らく之に上越すものはあるまいと出版者自身は自信して居る

定價六拾五錢送料六錢東京芝公園玄文社振替東京一四一七發行

淫羊藿エキス

淫羊藿エキス　通稱三枝九葉草エキス　人參に優る滋養強壯劑



主効　神經衰弱、精力減退、貧血、腎臟病、胃腸病、ヒステリー、ヒポコンデリー、老衰、生殖器病、リウマチス

定價	
廿瓦入	金壹圓
卅瓦入	金壹圓五十錢
四十瓦入	金壹圓七十五錢
五十瓦入	金貳圓三十錢

送料　鮮内二錢　鮮外三十錢

全一手販賣　國京城日報社代理部　朝鮮京城府大平通一丁目　電話長六〇〇九番ノ三　振替貯金口座京城三〇〇番

京城特約店　山岸天佑堂

京城特約店　北島支店

內科　小兒科　皮梅科　外科一般　婦人病　花柳病

京城黄金町二丁目（長橋通角）

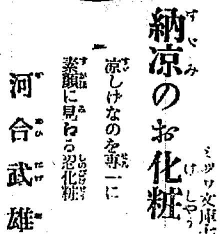
朝鮮病院　診療（入院隨意）（電話二八三七番）

納涼のお化粧

ミツワ文庫七七

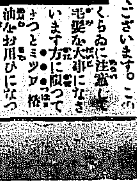
涼しげなのを專一に　素顔に見せる忍び化粧

河合武雄談



さわさわと梨の葉わたる微風さへ夏ゆゑいとゞ懷しきかな、などと申すやうな夏の夕暮に、銀盤のやうに洗ひ出された月影を浴びて好みの浴衣の袖輕く、門邊に納涼などもいたします時には、これからお寢みになるだけで、別に人樣をお訪ねなさいます譯でもないのですから、涼しげなのを專一に、素顔のまゝの美しさでおいでになるのも宜しからうと存じますが、氣の濟むやうに御身嗜みをなさいますならば、ごく瀟洒した忍び化粧ぐらゐをお施しになるのが、床しいやうに存じます。忍び化粧は何ういふ方法に致すのかと申しますと、先づ初めに顔をお洗ひになつて、手拭でよく拭きました後へ、ミツワ雪の雫を程よく塗りましてその上に忍び化粧用の粉白粉を、刷毛に能く含ませて、平均に輕く叩きつけました跡を、今度は他の毛の柔かい刷毛で、拂落すやうな手心で、萬遍無く撫でますと、初めに刷きました白粉の、浮いて居る粉だけが取れて、あとは肌へ眠んで付いて居りますから、そこを乾いた手拭を指先へ卷つけて、第一に眉毛を拭きとり、顔に殘つて居る浮粉を輕く拭きとりますと、冴々として美しい忍び化粧が仕上ります。しかし此の忍び化粧と申しますのは元々、白粉をつけたことが分らずに、眞からお顔色を美しく白く見せます方法でございますから、お化粧の基礎となる地肌を、平素充分に整へて置きますことは、忍び化粧には殊に大切でございます。私共が實地の經驗からしまして、また專門家の御説によりまして、最も理想に當て嵌つた美身法としましては、渇水に肌を潤す機會、ツマリ毎朝の洗顔、毎日の入浴の折を利用して、優良なミツワ石鹼を御專用なされて、肌を整へますのが一番でございます。このミツワ石鹼は、日本人の肌に適するやうに精製されてある、此上無しの洗料ですから、婦人やお子樣達の柔かい肌にお用ひになりましても荒れる心配が毛頭無く、肌の營養を助け機能を確かにする著しい作用を有して居るのでございます。ミツワ石鹼をお用ひになりました後の、美しい肌に、健膚藥のミツワ雪の雫をお塗になりますと、肌はふくよかに整へ上げられて、素肌で見ても見事な色艶の肌になります。

▲村田正雄曰く　或る御婦人に伺つたのでございますが、頭髮は時々形を變へてお結びになつた方が、大層髮の爲に宜しいさうでございます。このくらゐに注意して毛髮を大事になさいます方に限つてミツワ椿油をお用ひになつて居りますが、いかにも御尤なことで、此のミツワ椿油は本場から椿の實の佳を取り寄せて冷壓法で搾り取つた無類の油品で、毛髮を黑く芳々とするのに缺くことの出來ぬ品でございます。



發賣品目録送呈　東京橫町　丸見屋商店

家庭治療法　醫學士小山田…著　四六版三〇〇頁

本書は日常罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に教へ、醫師にかゝるまでの親切な相談相手となるものである。定價金五十錢。但し其半額（郵券代用不苦）を添へ御申込あれば一冊送呈す。東京日本橋區橘町丸見屋商店（振替東京七一〇番）

…石に…長に…任され又張…弟…山東にて新に一個師團を組織…碎し三軍は脱離し軍隊二名を出せり（東京特電）

妻の心 三十七

六の九　小林蹴月作　武内桂舟畫

『あら、お歸りになるの、櫻井さん。』小龍は、目をぱちくりしながら、若龍と順吉郎の顔をば等分に眺める。

『不愉快だから歸るさ』と、櫻井はさつさと身邊の物を取纏めて、廊下に立ち出た。

『本統にお歸りになるの、櫻井さん。』と若龍は、強てそれを止めようとも爲ないで、

『お歸りになるのは關はないけども、ね、櫻井さん、貴郎、本統にそれほど、妾から龍子さんに申上げた辭が癪にお觸りになつた』

『癪には觸らんが、困る事があるんだ。僕は、何にしても君とは、是ぎり逢はんからね。』

『どうも仕方ありませんわ。妾、嫌はれちやつたのね。』と、若龍は、もう付うでも勝手にせよと云ぬばかりの捨鉢。

『は、は、は、君も僕見たよな者に嫌はれた方が僥倖だらう。』櫻井も亦、負けぬ氣の捨臺詞を遺して、そ〻くさと階子段の方へ急ぎかけると、

『あら櫻井さん、こう遊ばしたの。お連れさんがお見えになりましたよ。』と、女中のお酉が、一人の男を案内して來るのに出會つた。見ると、そのお連れさんと云ふのは、花柳新聞社の柴田何某であつた。

『やツ、櫻井さん、多分此家だらうと思つて、當りを付けて來た所が、的中とは妙でしたな。貴夫、お歸りには早いでせう。少し貴郎に報告したい事件がありましてね。』と、柴田は、天晴れ忠義懲の口吻。

『僕に報告すべき事件があるんですつて？それぢや、今歸りかけた所だが、もう一杯飲み直すと爲やう。』

『まあ然うして下さい。吾輩だつて折角此家まで探し當てて來たばかりですから……。』

『ぢやまあ、此方へ坐り玉へよ。』櫻井と柴田とは、相對して坐に著く。若龍は、徹頭徹尾面白からぬ顔付であつたが、

『櫻井さん、妾、お邪魔になると不可ませんから、お暇しますわ。』

『然うね。別にお邪魔と云ふ譯もないんだがね。』と、是も等しく蹴りたくば蹴れとの謎らしく答へる

『では、小龍さん、お前さんも一緒にお暇なさいよ。』

『はあ、何だか御相談事がお有りのやうですから、然うしませう。』

櫻井は、小龍の方にばかり殘つて居よとも云ひかねたのであらう。默つて輕い首肯きを見せて居たので、二人の藝妓は、それを機に中座して了つた。

『柴田君、報告とは何事です』櫻井は、二人の藝妓の後姿を見送りながら、少し聲を潜めて、尖がつた顔を前へ運んだ。

『……なあに、人排ひする程の大事件でもないんですがね、兎に角新聞屈なんですから可笑いですよ。』

『新聞屈とは、矢張町川の身上に關しての事かね。』

『無論です。貴郎の御依頼があつてから以來、吾輩は是でも手に手を廻して、四方八方に警戒線を張つていた譯ですが……』と、柴田は、左も戰場の功名でも語るやうな口調で、

『實はね、招魂社裏の一件ですがね、貴郎も薄々は御承知の例の標守殿ですよ。』

『いや、招魂社裏と云へば、それで分るが、彼のお芳と云ふ女優上りの女だらう。』

『然り、而してです。彼の女優上りの先生がですよ、どうした奇蹟でせうか、町川氏の情の瓶を宿して、最早四月に垂んとして居ると云ふ事が、確實に御醫に診據立てられたんですが、櫻井さん、甚斷もんでせう。』

『成程、そりや近來の奇蹟だね。それよりは第一、明日の親族會議へ持出すにはお誂へ向の最新材料だが、柴田君、どうして君は、そんなことを確かめ得たんです。』

櫻井は、今までの不機嫌とは打つて變つて、左も嬉ばしさうに膝を押進める。

『どうしてでもないですが、彼家へ出入る産婆の直話ですから、是ばかりは間違ひありません。』と、柴田は、鼻高々。類は友の陰險性が、二人落合つたのだから、大變なものである。

日報歌壇

海の歌　生光生

若鮎み永劫にゆれ居る海見れば雲の如くも湧ける悲しみ
今も尚忘れがたかり夜の更けて聞より響く潮の遠鳴り
海の面霞みてけぶる夢明けに消く光る波頭かも
汐の如つよく深める心にてしづかに生きいとなみゆかまし
眞晝き漁夫の子らがむれ立ちて小舸をなぶる夏の眞晝月

夏に　赤果

砂が蠶に光る夕べの湊江にさまよはんとすあわれ若人
暮れなやむ巷の間のセ・ウヤにきぬたの響く巷の悲しも

あづさ

床ぬちにてはさやぎ來にけり
錦音器のぼりてあるかたらちれの眉のするごく動きし見
夜くだちに氷削る音のにす母の姿の病む眼に映るも
起きなほり窓によるさて立てるきに足のよろめくかなしきこの足

▲小雀會詠草（咸南永興）

日永
飴賣に日永き兒等が集ひ居り　孤
暮遲き庭に蹴合へる兒鷄哉　同
新聞も讀み盡したる日永哉　翰川
四ツ辻に客待つ車夫や暮遲き　南星
網を結く漁夫と語る日永哉　蚊子
釣糸を垂れて一人や暮れ遲き　蓮川
高踏す鷄の欠伸も日永かな　千波
船の腹を燒ける日永の烟かな　雪山
窓に迫る日永き山の烟哉　同
筵敷きて釣せる人や暮遲き　廬江

椿
囀り止めし籠の小鳥や落椿　孤
奉納の手拭白き椿かな　同
無住寺に淋しく咲ける椿哉　翰川
坂に並びて物賣る店や落椿　南星
門前に馬車の停りし椿かな　芦江
薄日射す杉の樹立や落椿　蚊子
チャと啼きて眼白の集る椿哉　雪山
士器を燒く岡の夕日や落椿　同
雛鷄の啄む雨や落椿　同
方丈の庭掃き在す椿哉　蓮川
記念碑のグルリに白き椿哉　千波
山荘の晝閑さよ落椿　同

京城本町　千代田號印舖

新刊紹介（到著順）

▲隨想錄（新渡戸博士著） 三百數十頁、新渡戸博士の隨想録にして多趣味多方面の有益なる事項豐富也（一圓二十錢、東京麹町區麹町三の四丁未出版社）

▲圍碁實力養成法（五段瀬越憲作著） 九目より三目位の程度に亘る適宜なる十題を集めたるものにて附錄に星月氏の課外講演あり非常の好參考書ならん（七十錢、東京日本橋數寄屋町一大阪屋號）

▲活動寫眞雜誌（八月號） 二十數頁の口繪寫眞あり讀物としては戲劇マダム・ブツ世界の平和、正劇雙の秘曲、新派悲劇、國の祭、夕潮連續活劇大秘密、七眞珠、ジエツクス 白石實譯孝女の佐討、山谷情話森の鴉、探偵ベニスの夕怪談木曾の黒猫、喜劇狂氣沙汰、義俠の花園に七人妙、春色墨の花、其他活動界の面白き消息等（三十五錢、東京赤坂一ツ木町六五共社）

▲講談倶樂部（八月號） 恩師の娘（孤舟）六號室（陸守）紅椿（紅緑）紫野の尼（西男）勇婦美代（美剛）神稲水滸傳（紀潮笙）源氏車（阪東太郎）探偵小説暗殺婦人（怪面鬼人）挿繪小説笛吹川（筑波四郎）寫眞小説磯千鳥（柴水）講談大久保彦左（一夢）浪花節奈翁外傳（神歌入獄）（東京本郷區駒込坂下町四八講談社）

▲若き日の偉（小林愛雄著） 二十五錢、東京牛込白銀町二十育英書院

▲趣味之友（三十號） 二十錢、東京麻布飯倉町一八共社

▲ローマ字（七月號） 十二錢、東京麹町區有樂町一ノ三同ひろめ會

▲婦人週報（四の二七） 五錢、東京牛込市ヶ谷田町二ノ一七共社

▲幸福生活（小林愛雄著） 英文書二十五錢東京牛込白銀町育英書院

▲法治國（七月號） 十錢、東京々橋新肴町一東京法律事務所

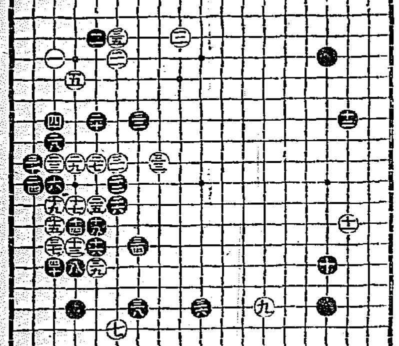
▲教育時報（一九六號） 東京麹町區飯田町四同盟社

▲綴方教授書（森田章之助著） 此書は著者が尋常一學年に綴方を教授したあとを日を追ふて記載し且つ之により得たる兒童の成績を集めたるものなりといふ尋常一學年級の教授の好參考書

碁戰（二）

（大正七年六月二十三日京城日報主催於圍碁會）

四段 喜多文子
三子 大久保雅彦



讀者の領分

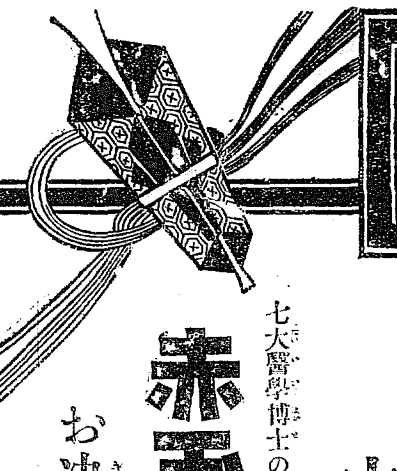
……折角の御方に御依頼候や御存知の御方は本紙に御知らせ下さい……（在京城長岡生）

贈答

今年の中元暑中の贈答も＝又々

七大醫學博士の賞讃と證明ある美味滋養の葡萄酒

赤玉ポートワインにお決め遊ばせ!!



人參エキス　津村兄弟商會　京城本町二丁目　電話一四八〇番

▲流行燈袴　▲特價金拾圓也　英國製にしてシワノヨラヌ　京城日報社代理部

懷中時計　新荷著

京城永樂町二丁目　酒井婦人病院　院長 酒井一郎

優等清酒　菊藥　京城永樂町二丁目　富安支店

滿天下の賞讃を博したる人參エキス

陸軍御用　元祖　朝鮮高麗人參直取引貿易商　津村兄弟商會　人參エキス

品質優良藥効の顯著なる人參エキス

りん病　ばい毒　ドラッグ商會

大阪屋號　鐵道旅行案內

最新刊

鮮語階梯　布陣挑戰法

寫眞　京日寫眞製版部

花柳病外科専門　司生堂醫院

荊妻奈良菊　儀病氣の處…死去致候…大正七年七月十三日　親族總代 橘香藏 高橋多助 齋藤松之助 仁科三也 前田昇　友人總代 奧田貞次郎 釘本藤次郎 河野竹之助 牧山耕藏 大垣丈夫 萩谷籌夫

釜山出帆廣告

大阪商船出帆

尼崎汽船出帆

朝鮮郵船出帆

○輸出鱈の注意

○咸興昨今市況